

磐田地域日本語教室
対話活動のための教材

にほんごで おしゃべりしよう！ Part3



行動体験の活動のための教材

街に出よう！ 人と出会おう！ — 活動例集 —



一般社団法人磐田国際交流協会

1. 行動体験活動とは

学習者が、

- 日本語を使っていろいろな生活上の行為ができるようになる。
- 社会参加ができるようになる。

ことを目的に、実際の生活につながる内容を体験できる場をつくり、本物のコミュニケーションを行う活動です。地域のすべてが学びの場となります。

様々な組織や団体と連携し、多くの地域住民を巻き込んで、外国人と地域社会を繋ぐことにより、外国人が自身の持つ力を発揮し、社会の一員として自分らしく社会生活を送ることができるようになることを目指します。地域社会も、外国人との相互理解を深め、コミュニティの寛容性を醸成することで、誰もが生き生きと暮らせる、多様性豊かな活力ある地域として発展していくことに繋がります。

2. 行動体験活動のつくり方

① 外国人のニーズに合ったテーマの選択

■学習者が生活上の必要性を感じ「できるようになりたい」と望む生活上の行為を選びます。

そのために…

- 学習者のニーズを聞く回を設けます。標準的なカリキュラム案を活用して、具体的な内容を考えます。
- 雑談の中で出てくる希望をキャッチし、学習者のニーズを汲み取ります。

■学習者からの希望は無いが生活に必要と思われる「潜在的なニーズがあるもの」を提案します。

- 安心・安全に関わることなど日本で生活する上で必要なこと
- 学習者の中にある「何ができるようになりたいか」の答えを引き出すようにします。
- それまでの教室活動で反応が良かったもの

② 目標設定

「日本語で何がどれだけできるようになる」ことを目指すか、具体的に目標を立て、学習者と共有します。その回の学習を通じてできるようになることを学習者に伝えることで、学習者が目標を意識し、学んだ実感が高まると考えています。

- 「日本語能力評価」の能力記述の一覧を活用して、目標を「～できる」という形式（Can-do statements）で示します。
- 学習者自身が現状把握するために、設定した目標について活動の前後に自己評価します。学習確認シート参照（P6～8）。

③ 連携・協力者

テーマに合わせて、できる限り専門家や地域の人に関わってもらうようにします。講師として教室に招いたり、教室から外へ出て、施設を訪問したり行事に参加したりします。

- 日頃からネットワークを広げておくといいです。行政はもとより、福祉関係、防災関係、弁護士・行政書士などの士業の方たち、市民活動グループ、学校や幼児教育・保育、地域の交流センターや自治会などと繋がりをもつようにします。
- 協力者に日本語教室の目的を説明し、よく理解してもらった上で、講師等を依頼します。必要に応じて講師依頼書や講師派遣依頼書を作成します。
- 確認しておくこと。
 - ・協力者の氏名、所属、肩書
 - ・開催日時、会場（住所）
 - ・依頼したい内容と時間
 - ・学習者の人数、日本語レベル、通訳の必要性
 - ・資料の内容と表記方法、配布・投映資料の有無、データ等の受け渡し方法
 - ・当日の流れ、会場に入る時間
 - ・交通手段、送迎の必要性、駐車場案内
 - ・必要な機材（プロジェクター・スクリーン・パソコン・スピーカー）、文房具
 - ・会場内のレイアウト
 - ・謝礼と交通費（金額・支払方法・所得税の源泉徴収の有無）
 - ・連絡方法（メールアドレス・電話番号・携帯番号・連絡の取り易い時間帯）など

★ 協力者を巻き込むメリット

多文化共生のまちづくりに効果があります。

- ・外国人住民の存在を知ってもらえる
- ・異なる文化や考え方があることを理解してもらえる
- ・外国人とのコミュニケーションの仕方が身につく
- ・地域に外国人住民を理解してサポートしてくれる人が増える

④ 活動の流れのつくり方 ※P4の図参照

テーマと目標を決めたら、③連携・協力者の検討と並行して、目標を達成するためにどのような活動をするか考えます。P4の「活動の流れ」に沿って大まかな流れを決めた後、活動進行表を作成します。この活動進行表（P5参照）を協力者や補助者と共有して目標や流れを活動前に確認します。活動前に打合せを行うと流れやそれぞれの役割がより明確になり、活動の質の向上につながります。

- 活動進行表は準備にかけられる時間や必要性に応じて、メモ程度でもいいですし、準備物や教材配付のタイミング、人を動かす指示など詳細に書いてもいいで

す。慣れないうちは、タイムテーブルや注意することを載せておくと、落ち着いて進行できます。

- 慣れるまではやさしい日本語で伝えられるようにシナリオ（セリフ）を書き出すといいです。
- 当日の参加者の状況に応じて、計画にこだわらず臨機応変に活動します。

⑤ 活動をスムーズに行うための教材・資料

言葉だけで伝えようとせず、できるだけ実際の物（レアリア）があるとイメージがつかみやすいです。実物が難しいときには、写真やイラストなどを用意します。パンフレットや広告なども役に立ちます。

- まずイメージを持ってから日本語の表現を学びます。
- 協力者にも、見て分かる資料や、やさしい日本語表現をお願いしましょう。
- 活動内容に合わせたワークシートがあると、学習のガイドになり、参加者が対話の流れをつかみやすくなります。

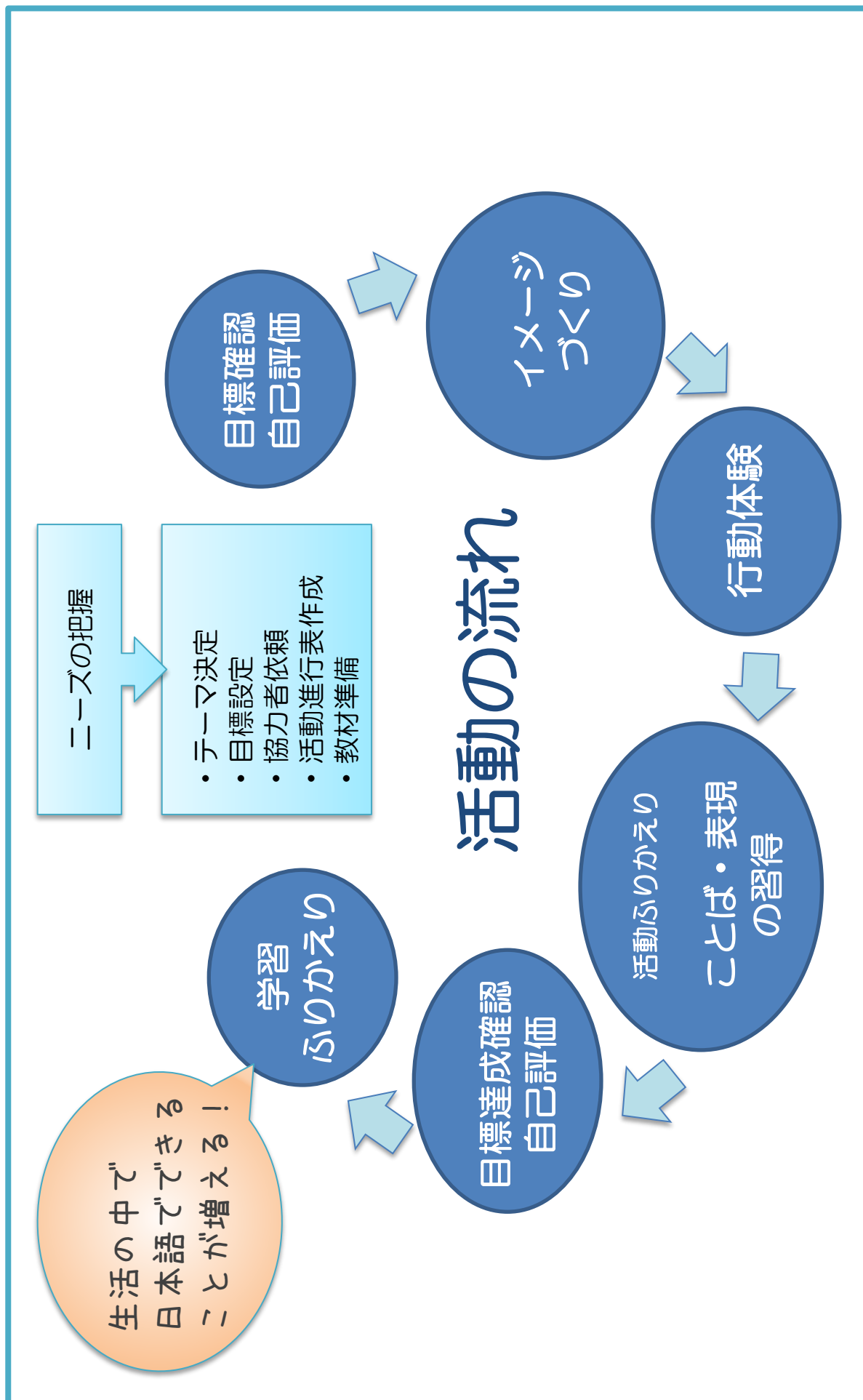
【ワークシートについて】

- ・ ワークシートを使う目的は「対話を促すこと」です。文字をしっかりと書くためではないことを補助者や学習者と共有しておく必要があります。
- ・ ワークシートを配布するタイミングに注意が必要です。タイミングによっては対話をしないで書くことに集中してしまうおそれがあります。

⑥ 学びの見える化・学びの確認

活動の後、その日学んだことを振り返ります。「楽しかった」だけで終わらずにその日にどんな言葉を使ったか、覚えたかを自覚できるように「学習確認シート」（P6、7）を使うのもよいです。

- 学習確認は自己評価です。
- 学習者の学びの到達度はそれぞれのレベルで OK です。
- 活動前の状態と活動後の状態を点数をつけたりグラフや表で目に見えるようにすると、本人も積み上げた学びが実感できます。
- 学習者の自己評価を見ることで活動内容の良し悪しも評価ができます。次の活動がより効果的なものになるように修正していきます。



活動進行表

教室

クラス

日 時 会 場	年 月 日 () : ~ : (分)	
テーマ		
ねらい		
参加予定者		
グループ案		
準備 するもの		
時間配分	内 容	備考 (注意事項、担当等)

がくしゅうかくにん
■ 学習確認シート ■

な まえ
名 前

ねん がつ にち てーま
年 月 日 () テーマ『

』

ま え

もく ひょう
目 標

あ と

しらない・すこししている・している

(1 ・ 2 ・ 3)

わからない・すこしわかる・よくわかる

(1 ・ 2 ・ 3)

あまりできない・すこしできる・できる

(1 ・ 2 ・ 3)

し
を知っている

がわかる

ができる

しらない・すこししている・している

(1 ・ 2 ・ 3)

わからない・すこしわかる・よくわかる

(1 ・ 2 ・ 3)

あまりできない・すこしできる・できる

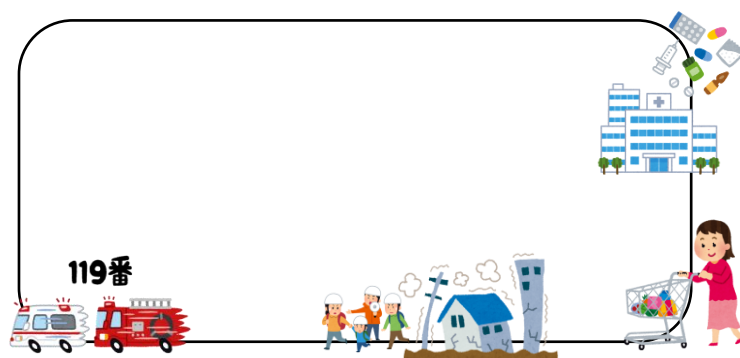
(1 ・ 2 ・ 3)

きょう はな
今日は だれと 話しましたか

きょう あたら おほ ぶん
今日 新しく 覚えた ことば・文

きょう かんそう
今日の 感想

し はな
知りたい テーマ・話したい テーマ



なまえ

ねん
年

がつ
月

にち
日

()

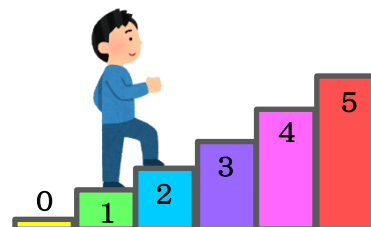
テーマ『

』

きょう もくひょう
今日の 目標

0・1・2・3・4・5

- | | |
|--------------|--------------|
| 0. これから できる！ | 1. すこし できる！ |
| 2. ときどき できる！ | 3. けっこう できる！ |
| 4. ほとんど できる！ | 5. できる !! |



グループメンバー

きょう つか
今日 使った キーフレーズに チェック☑しましょう。

☐
☐

きょう まな か
今日、学んだ ことばを 書きましょう。

じ ぶん はな ぶん か
自分が 話した ことばを 文で 書きましょう。

0・1・2・3・4・5

いちばん いんしょう のこ
一番 印象に残ったこと

ぐたいてき し
具体的に 知りたいこと

学習確認シート（P7）使用例

がくしゅうかくにん

■ 学習確認シート ■

磐田国際交流協会

なまえ Nome テ"と

教室活動前の、目標に対する自己評価。

2019年 12月 1日 (日) テーマ『しゅみ』

きょう ちくひょう

今日の 目標 Meta de hoje

じぶんの しゅみ について、にほんご ではなすことが できる。 0・1・2・3・4・5

0. これから できる！ 1. すこし できる！

2. ときどき できる！ 3. けっこう できる！

4. ほとんど できる！ 5. できる !!

学習前
に記入

グループメンバー Grupo de hoje.

ゆうこ	テ"と"ジ"		
ヘイッ"			

学習後
に記入

きょう つか 今日 使った キーフレーズに チェック☑しましょう。

☒ わたしの しゅみ は _____ です。 Watashi no

☐ _____ (surukoto) ga (mo) suki desu.

☐ _____ に はまっています。 _____ ni hamat

きょう まな 今日、学んだ ことばを か 書きましょう。

WATASHI NO SHUMI WA SHIYOTO NO ATO NI SHIMASU ANO KIRAN SHIMASU

じぶん はな 自分が 話した ことばを 文で か 書きましょう。

じぶんの しゅみ について、にほんご ではなすことが できる。 0・1・2・3・4・5

いちばん いんしょう のに 一番 印象に残ったこと

O fato que mais impressionou hoje.

Sugoi sensei communication

すごい せんせい コミニケーション

具体的に し 知りたいこと

O que gostaria de saber especificamente.

GinGo, número, hiragana, Katakana

(numbers)

Kanji, 銀行、数字、ひらがな、カタカナ

文字は自由。ひらがな・漢字などを書きたい人は補助者がサポートする

活動後の自己評価。「趣味」について話せるようになったと感じている

自分が伝えやすい言葉で書いてもらおうとよい。母語の場合は後で翻訳する。

※アルファベットの部分は本人が記入、下の日本語は後からスタッフが記入したもの

がく しゅう き ろく
学 習 記 録

名前

学習日	学習内容	コメント
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()

記入例 ↓

活動を終えたときの気持ちを顔のマークで表現。
※目標達成度をはかるマークとして使う等、教室で使い方を決めてもよい。

補助者が学習者にむけて励ましのコメントを書く。※学習者がわかる文字、ことばで。

たときの気持ち クで表現。 度をはかるマ う等、教室で使 てもよい。		学 習 記 録	
		コメント	
5/18	11:00	学習者 講師・ボランティア ISHIKAWA GANBATTE ME いしや がんばってね!	HIROKO (ひろこ)
5/18	11:00	学習者 講師・ボランティア MEGUMI TO MO TATSUNO KAKIMASHITE	KUMIKO (くみこ)
5/18	11:00	学習者 講師・ボランティア ONAGI NEMUREI NO HITO TO THUSAN	HANASHI MASHITA NA JUN (ハンナ)
7/19	11:00	学習者 講師・ボランティア ORIGAMI GA UHAKU ORE MASHITA MAIA TAKUSAN HANASHI MASHITA	YUKI (ユキ)
7/19	11:00	学習者 講師・ボランティア ISHIKAWA N1 HANASHI TE TANOSHI KATTARU	(YUMI)
11/20	11:00	学習者 講師・ボランティア YOKUDEKI MASHITA	(YUMI)
11/20	11:00	学習者 講師・ボランティア TATEMO YOKOTTADESU	NATA OHANASHI SHINASHI A KIRO
11/20	11:00	学習者 講師・ボランティア KYUJOMU TAKUSAN OHANASHI DESHIMASHITARE	SHINASHI A KIRO

** 活動例集 **

生活上の行為	No.	テーマ	つながる相手 協力者
0 テーマ決め	ニーズ把握・相互理解		
VII 人とかかわる	1	テーマ選び・自己紹介	
I 健康・安全に暮らす	生活課題の解決		
	2	健康	(行政) 健康福祉担当部署
	3	病院	内科医、歯科医、薬剤師など
	4	新型コロナ感染予防	保健所、市立総合病院
	5	救急(通報訓練)	消防指令センター
	6	防災	(行政) 危機管理担当部署
	社会参加		
	7	防災訓練への参加	自治会、自主防災会、地域交流センター
	生活課題の解決		
	8	火災予防	消防本部
III 消費活動を行う	9	交通事故	警察本部担当部署、保険会社
	10	買い物	小売店、飲食店など
	11	携帯電話の購入・契約	携帯ショップ
	12	ららばーと探検	ららばーと磐田 総合案内所、店舗
	13	ポイントカードづくり	ららばーと磐田 カードデスク
IV 目的地に移動する	14	注文をしてみよう	ららばーと磐田 飲食店
	15	運転免許	警察本部運転免許担当部署
V 子育て・教育を行う	16	教育	教育委員会、外国人担当教諭など
	17	図書館	図書館
VI 働く	18	人事制度・就業規則	企業人事担当者、労務士など
	19	職場のやりとり	
	20	給与明細	企業・団体等の労務担当者
	キャリアアップ		
	21	働き方	(行政) 労働関係担当部署
	22	労働者を守る法律	法テラス、弁護士
VII 人とかかわる	相互理解		
	23	近所づきあい	
VIII 社会の一員となる	社会参加		
	24	豊田ふれあいフェスタ準備会その1	イベント主催者、地域交流センター、自治会
	25	豊田ふれあいフェスタ準備会その2	イベント主催者、地域交流センター、自治会
	26	豊田ふれあいフェスタへの参加	イベント主催者、地域交流センター、自治会
	27	料理交流会の開催 準備会その1	(行政) 広報担当部署、地域交流センター
	28	料理交流会の開催 準備会その2	(行政) 広報担当部署、地域交流センター
	29	料理交流会の開催	(行政) 広報担当部署、地域交流センター
	30	夏まつりへの参加	自治会、地域交流センター
IX 自身を豊かにする	キャリアアップ		
	31	自分カレンダーを作ろう	
	32	わたしの一日	
	33	ライフプラン	金融機関外国人担当者など
	34	日本語学習法	先輩外国人
	35	オンライン日本語教室への参加	
	生活課題の解決		
X 情報を収集・発信する	36	ペット	動物管理機関、動物愛護団体
	37	荷物を送る	郵便局、宅配業者など

1 テーマ選び・自己紹介

自分ができるようになりたいことが
明確になる
自己紹介が日本語でできる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
14(31)3102 自己紹介をする

つながる相手

★ 教室参加者

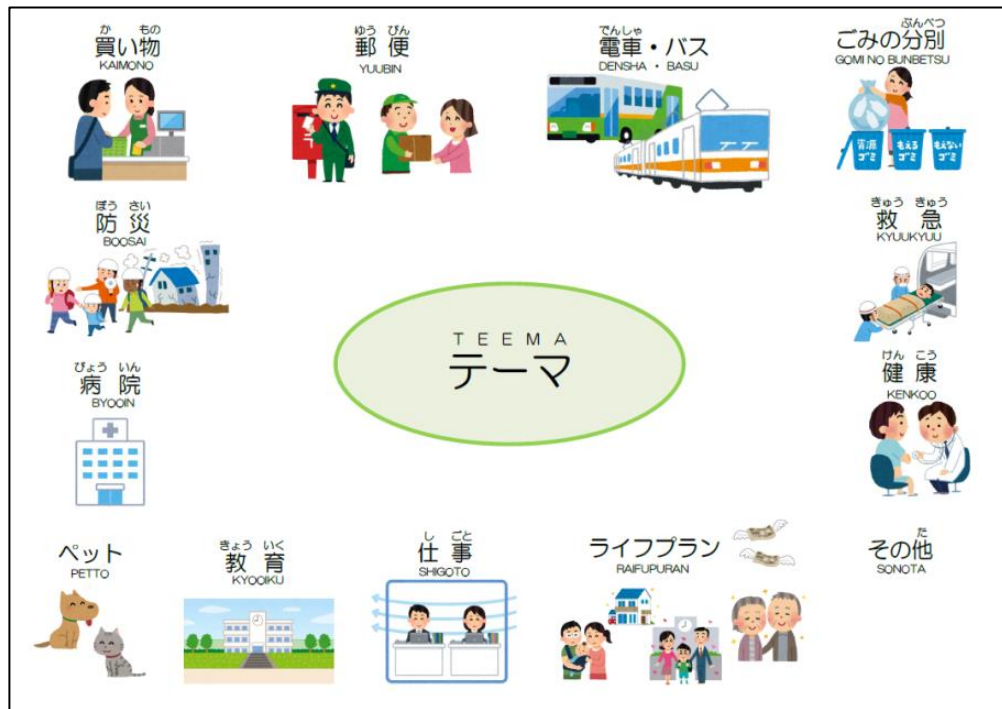


活動進行表（例）

準備するもの	えんたくん（円卓型ダンボール）、個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト等	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、今日の朝ごはん）	グループ分け 〇〇さんお願いします
14:10	ゲーム「リーダー探し」	
14:20	学習確認シート(前半)記入	
14:25	テーマ提示①「テーマ決め」	
(5分)	・テーマの例を提示	
14:30	グループ対話	
(15分)	・何について知りたいか、話したいか、何ができるようになりたいかをグループで話しながら出し合う。	
14:45	共有	
(10分)	・各グループで出た意見を WB に貼り出して全体で共有、次回のテーマを決める	
14:55	テーマ提示②「自己紹介」	
(5分)	・名前、家族、仕事、趣味、できるようになりたいことなどいくつか例示し、自分が話したいことを選んで話してもらうよう指示。	
15:00	グループ対話	
15:20	共有	
(15分)	・一人ずつ発表	
15:35	ペア対話 3分×2回	
15:41	学習確認シート(後半)、学習記録記入	

15:55	お知らせ 全体会	
16:00	終了	

教材例



活動の様子



※ふせんに書き出した
学びたいことを
テーマ別に貼って
発表する

2 健康

体の具合を伝えることができる
問診票の氏名、住所などの記入ができる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
01(01)0103 体調を説明する
0102 問診票に記入する

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、振り返りシート、学習記録、付箋紙、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード・イラスト、体の絵のワークシート（一人一枚）、カラーシール、多言語問診票（ポルトガル語 内科・整形外科・皮膚科・歯科・小児科）	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、趣味）	グループ分け
14:10	ゲーム「大嵐」	
14:15	テーマ提示「健康」	
(5分)	・「元気」「まあまあ」「体調が悪い」の言い方を提示。 ・自分の体の調子が悪いところ（お腹をこわした、歯が痛い）を話す	
14:20	グループ対話	配布物
(20分)	・体の絵にシールを貼りながら、調子の悪いところについて話す。キーワードはふせんにメモ。	
14:40	共有	配布物
(15分)	・グループ全員で前に出て、ひとりずつ、グループで話したことを発表	
14:55	多言語問診票の記入	
(20分)	・前半で話した自分の症状に合わせて問診票を選択、記入してもらう。自分の書ける文字でOK。 ・皮膚科、歯科は次回先生が来る回までの宿題にする。	・多言語問診票

15:15	ペア対話 3分×3回	
15:25	ふりかえりシート、学習記録記入	
15:40	お知らせ ・GW前後の日程確認 ・次回のテーマ「病院」	
15:50	全体会	
16:00	終了	

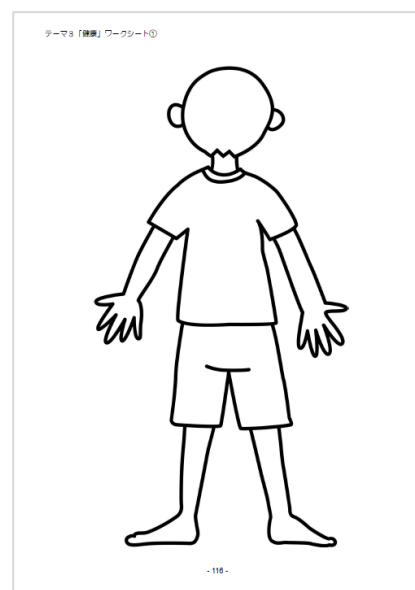
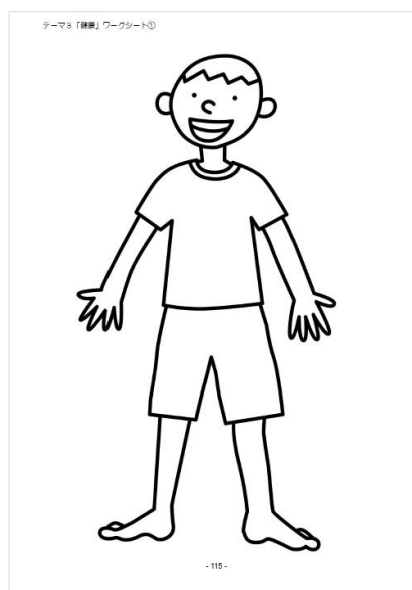
活 動 の 様 子

体の絵ワークシートを使った
テーマ提示→



教 材 例

体の絵ワークシート



3 病院

受診から処方せん薬局で薬をもらう
までの流れを理解する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
01 (01) 医療機関で治療を受ける
(02) 薬を利用する

つながる相手

★ 医師（内科、歯科、
皮膚科等）
★ 薬剤師



活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、内科問診票、提示用キーワード・イラスト、処方箋サンプル、保険証	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、趣味）	グループ分け：〇〇さん お願いします
14:10	ゲーム「いちにのさんの指出し体操」	
14:20	学習確認シート(前半)記入	
14:25 (10分)	テーマ提示「病院」 ・問診票を貼りだして、内容を確認 受付から受診、会計、薬局までを行う。 ・この時に必要な言葉をホワイトボードに貼る	受付：進行役 診察：医師 薬局：薬剤師
14:35 (10分)	グループ対話 ・問診票の内容確認 ・医師、薬剤師への質問事項など	
14:45 (30分)	内科受診体験 書いてきた問診票をもとに、学習者が受診体験をする。 (受付～診察～会計～薬局)	
15:15 (10分)	受診体験のふりかえり、質疑応答 ・受診時に必要なことばの導入 ・質疑応答	事前にいただいた質問も医師と薬剤師天に答えていただく
15:25	ペア対話	

15:35	学習確認シート(後半)、学習記録記入	説明：進行役
15:45	お知らせ ・ 特定初診料、再診料、自費診療料金改定	
15:50	ふりかえり	
16:00	終了	

教材例

処方せんサンプル



保険証（実物）



活動の様子



4 新型コロナ感染予防

コロナウイルスに感染しないために、また感染したときにどうしたらいいか知っている

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

01 (03) 0301090 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する

つながる相手

★ 磐田市立総合病院 医
事課

★ 静岡県西部健康福祉
センター
(西部保健所)



★ 家族・友人
★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	・個人ファイル・名札ケース・振り返りシート・学習記録 ・グループ用ホワイトボード・ホワイトボードマーカー・マグネット ・活動進行表・磐田病院作成コロナウイルスについての資料 ・西部保健所持参の多言語チラシ・ワークシート・資料・提示用イラスト	
時間配分	内 容	備考（担当等）
14:00 (10分)	プロジェクター・スクリーン用意 受付 ・記帳・体温測定、健康チェック・個人ファイル渡し あいさつ、自己紹介 （名前、国、今日の朝ごはん）	手が空いている人
14:10 (10分)	ゲーム「後出しじゃんけん」 （グループ分け）	【〇〇さん、●●さん】グループ分けをお願いします
14:20 (5分)	テーマの提示、目標に対する現状確認 ・テーマ「コロナウイルス」日本、静岡、磐田の感染者状況 ・今日の目標を説明、事前自己評価。 ・グループ対話で話すことを進行役が例示。 「コロナウイルスに感染しないよう気をつけていること」 「自粛や感染予防で大変だったこと」	【△△さん、▲▲さん】目標の通訳をお願いします
14:25 (5分)	グループ対話の準備 ・個人で考える時間。母語でワークシートにメモする。	ワークシート配布（進行役）
14:30 (25分)	グループ対話 ・補助者から話す。→補助者の話がモデルになる ・学習者のそれぞれのレベルに合わせて、学習者が言いたいことを話せるようにサポートする。母語のメモをもとに、日本語でどのように言うか一緒に考える。	
14:55 (10分)	発表 ・グループで話したことを、補助者・学習者が全員話す。	プロジェクター用意
15:05 (15分)	コロナウイルスについて ・磐田病院作成の資料を見せながら説明（進行役）	資料配布

15:20 (20分)	西部保健所 医療健康部長・保健師さんからの話しと質疑応答	【△△さん、▲▲さん】必要に応じて通訳をお願いします
15:40 (15分)	ふりかえりシート、学習記録記入・ねらいの達成度合いの確認 ・補助者は、 <u>学習者の事後自己評価の補助をする。</u> <u>ふりかえりシートの顔マークをチェックする。</u> <u>「できた、少しできた、できなかった」</u> ・補助者は、学習者の記入をサポートする。感想、知りたいことは母語でよい。	
15:55 16:00	全体会・あいさつ 終了	

教材例

磐田市立総合病院作成 翻訳付投影資料（日本語ルビ、英語、ポルトガル語）全 28P

The collage consists of several items:

- Top Left:** A document titled "新型コロナウイルスの基礎知識" (Basic Knowledge of COVID-19) in Japanese, with a Portuguese translation below it: "Basic Knowledge about New Coronavirus (COVID-19) How to Prevent Infection". It mentions "感染予防について" (About infection prevention).
- Top Center:** A document titled "新型コロナウイルスの経過" (Course of COVID-19) in Japanese, with a Portuguese translation below it: "Progresso do novo coronavírus". It states "os sintomas podem piorar em 7 a 10 dias" (symptoms can worsen in 7 to 10 days).
- Top Right:** A diagram showing a person coughing into their elbow, with text in Japanese and Portuguese. The Portuguese text says "Progresso do novo coronavírus" and "os sintomas podem piorar em 7 a 10 dias".
- Middle Left:** A map of Japan with a line graph showing the number of COVID-19 cases from February to May 2020. The graph shows a significant increase in cases starting in late April.
- Middle Right:** A flowchart titled "COVID-19に感染しないために" (To prevent COVID-19 infection). It lists various measures such as wearing a mask, avoiding crowded places, and maintaining social distance. It also includes a QR code and a phone number: 050-5371-0561.
- Bottom:** A large, light blue rectangular area with the text "←ワークシート" (←Worksheet) in the center.

活動の様子



5 救急（119番通報訓練）

救急車や消防車を呼ぶことができる

標準的カリキュラム案で
 取り上げる生活上の行為の事例
 02(04)事故に備え、対応する
 02(05)災害に備え、対応する

つながる相手



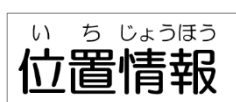
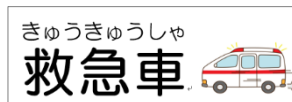
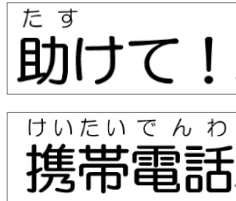
活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用写真、提示用キーワード・イラスト、119番ワークシート	
時間配分	内 容	備考（注意事項 担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、この夏にしたこと）	グループ分け：〇〇さんお願いします
14:10	ゲーム「名前いもむし」	
14:20	学習確認シート(前半)記入	
14:25	テーマ提示「救急」	写真、イラスト、キーワード
(10分)	・「救急」と「火災」に分けて、通報の流れを説明 ・「助けて」など助けを求める際に必要な日本語を導入	
14:35	グループ対話	
(25分)	①「名前」「住所」「目標物」など、通報時に必要な情報について話し合う ②119番ワークシートを記入する	119番ワークシート ペア分け：進行役
15:00	119番通報体験	通報 5 分前に指令センター代表へ tel
(25分)	・希望者が「救急」、「火災」を想定し、実際に通報してみる ・訓練後にセンターの担当者と簡単にフィードバック	
15:25	ペア対話	
15:35	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:45	お知らせ ・次回テーマ「病院」	

15:50	□内科、整形外科多言語問診票・・・宿題として配布 □病院に関して具体的に何を知りたいかヒアリング	多言語問診票
16:00	全体会 終了	

教 材 例

提示用キーワード・イラスト



119 番ワークシート

ばん め も 119番 メモ	
きゅうきゅう 救 急	かじ かさい 火事(火災)
じゅう しょ 住 所	
ちか たてもの 近くの建物	
な まえ 名 前	
か ぞく 家 族	
でんわばんごう 電話番号	

活 動 の 様 子



6 防災

災害のときのトイレの使い方を理解する
災害に備えて何を準備すればよいか知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
02(05)災害に備え、対応する

つながる相手

★ 講師：県行政危機
管理担当課



★ 家族・友人
★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備 するもの	プロジェクター、個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッ キー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、 提示用キーワード・イラスト、昨年の防災訓練の写真、防災訓練チラシ 【借用機材】プロジェクター、スクリーン	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00 14:10 14:15	あいさつ、講師紹介、自己紹介（名前、国、今日の朝ごはん） ゲーム「後だしじゃんけん」 学習確認シート(前半)記入	プロジェクター、ス クリーン準備
14:20 (40分) 15:00 (10分) 15:10 (3分)	防災講座「災害時の食料とトイレの備え」 ・講師のお話を聞く 質疑応答 テーマ提示「災害の前に、準備しておきたいもの」 ・前半のお話や、先日の台風の時に困ったこと、自分の家の 様子を思い出しながら、自宅に備えたいものについて考え るよう指示。	プロジェクター使用
15:13 (15分) 15:28 (5分)	グループ対話 ・上記のような話をしながら、ワークシートに自分が備えた いものを書きだす。 共有 ・（時間が短いため）他のグループの人にも知ってほしい話が あれば2，3その場で発表してもらう。	ワークシート配布

15:33	ペア対話 3分×2回	防災訓練の写真提示 防災訓練チラシ配布
15:40	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:55	防災訓練の案内 ふりかえり	
16:00	終了	

教材例

ワークシート

2018.11.25 ワークピア日本語教室 対話クラス・日本生活スタートクラス
さいがい 災害 ぜったい 絶対に じゅんび 準備
災害の前に、絶対に 準備したい！

●準備するものリスト

台風たいふうのときに、ほしかったものはありますか？

今日の話を聞いて、「準備しよう！」と思ったものは？



活動の様子



7 防災訓練への参加

避難所で何が行われるかを知る
防災についての知識を得る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
02(05) 災害に備え、対応する

つながる相手

- ★ 避難所運営訓練実行委員会（交流センター、自治会等）
- ★ 企業（技能実習生）



- ★ 家族・友人
- ★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	名簿（グループ分け）、カメラ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
9:00	豊田支所集合 ※サイレンの音を確認 移動	
9:30	豊田北部小学校 運動場に集合・整列 ●「外国人市民集合場所」の立て看板のところ ●人数報告（情報班へ） ＊ベスト配付・着用	
9:35	開会、地区長あいさつ 連絡事項、注意事項	
9:50	災害時実体験談を聞く	
10:00	訓練開始宣言 本部テント設営 班に分かれて訓練に参加 日本人、外国人の参加者が4Gに分かれて 富岡地区の担当者の引率により、順番に訓練を見学・体験 非常食炊き出し訓練、放水訓練、可搬ポンプ、濾水機講習	
11:30	全員で清掃、会場後片付けの確認	
12:00	地区長が訓練終了宣言、炊き出し弁当配布 車で支所にもどり、アンケートを記入して解散	

教材例

(一社) 警田国際交流協会

2016年12月4日

ちいき ぼうさい くんれん さんか
地域防災訓練参加 アンケート

なまえ(名前) _____ おとこ・おんな(男・女)
くに(出身国) _____ とし(年齢) _____ さい(才)

1. どこ の ぼうさい くんれん(防災訓練)に さんか(参加)しましたか?
ちくめい(地区名) _____

2. ぼうさい くんれん(防災訓練)に さんか(参加)するのは なんかいめ(何回目)ですか?
a. はじ(初)めて b. _____ かいめ(回目) c. まいとし(毎年)
a. の ひと(人)は、いま(今)まで、 ぼうさい くんれん
(防災訓練)があることを し(知)って いましたか?
a. し(知)っていた b. し(知)らなかった

3. こんかい(今回)さんか(参加)した りゆう(理由)は なん(何)ですか?

4. ぼうさい くんれん(防災訓練)で なに(何)を しましたか?

うら(裏)へ

(一社) 警田国際交流協会

5. ぼうさい くんれん(防災訓練)で りかい(理解)できなかった ことや、ぎもん(疑問)におもったこと など しつもん(質問)があれば か(書)いてください。

6. ぼうさい くんれん(防災訓練)で ちいき(地域)の にほんじん(日本人)と はな(話)しましたか?
a. はな(話)した b. はな(話)できなかった
a. の ひと(人)は、どんなことを はな(話)しましたか?

7. ぼうさい くんれん(防災訓練)で こま(困)った ことは ありましたか?
a. あった b. なかった
a. の ひと(人)は、どんなことに こま(困)りましたか?

8. ぼうさい くんれん(防災訓練)に さんか(参加)した かんそう(感想)を おし(教)えてください。

ありがとうございました。

活動の様子



8 火災予防

火災の予防についての知識を身に付ける
火災発生時に適切な行動が取れるようになる

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

02(05)0504 火災発生時に適切に行動する

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	☐ 個人ファイル ☐ 名札ケース ☐ 学習確認シート ☐ 学習記録 ☐ 付箋紙 ☐ 模造紙 ☐ プロッキー ☐ ホワイトボード（小） ☐ ホワイトボードマーカー ☐ マグネット ☐ ビデオカメラ ☐ ノートPC ☐ 活動進行表 ☐ キーワード ☐ 語彙リスト【借用機材】プロジェクター	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、この夏行きたい場所）	グループ分け：〇〇さんお願いします
14:05	ゲーム「後出しジャンケン」	
14:10 (10分)	テーマの提示、学習確認シート記入 講師の紹介	
14:20 (60分)	講師のお話 磐田市消防本部 予防課 〇〇様 ①防火講話 一火災の原因から知る火災予防一 ②消火器の使用方法 ③天ぷら油火災実験 <u>外で助けて！火事だ！などの必要最低限の語彙の確認</u> 質疑応答	通訳有り ②、③は屋外で実施
15:20	ペア対話 ※ 消防の方にも入ってもらう 3分×2回	ペア分け 〇〇さんお願いします
15:40	学習確認シート、学習記録記入	す
15:50	火災時の語彙リスト配布 お知らせ	各種チラシ用意

15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例



火事・語彙リスト

火事で使える言葉リスト Lista das palavras que dar para usar em casos de incêndio.					
日本語	Yomigana	Português	日本語	Yomigana	Português
ひやくじゅうきゅうばん 119番	Hyaku jyu kyuu ban	Número 119	しょうぼうし 消防器	Shookaki	Extintor de incêndio
かじ 火事	Kaji	Incêndio	かてもの 建物	Tatemono	Prédio
きゅうきゅう 救急	Kyuukyuu	Urgência	かい ～階	～Kai	____ andar
きゅうきゅうしゃ 救急車	Kyuukyuu sha	Ambulância	かいだて ～階建て	～Kaidate	Prédio de ____ andares
しょうぼうし 消防車	Shooboocha	Carro dos bombeiros	いっぴや 一戸建て	Ikkyodate	Uma casa
かじ 火事だ!	Kajida!	Fogo!	めいご 目印	Meijirushi	Marca
たすけ 助けて!	Tasukete!	Socorro!	けんめい ～軒目	～Kenmei	____ casa/prédio
もえています 燃えています	Moetemasu	Está queimando.	けが けが人	Keganin	Ferido
ばしょ 場所	Basho	Local	けが人がいますか けが人はいますか	Keganin wa imasu ka	Tem alguém ferido?
だいどころ 台所	Daidokoro	Cozinha	おちついてください 落ち着いてください	Ochitsuite kudasai	Tenha calma
へや 部屋	Haya	Quarto	ひんがし 避難してください	Hinan shite kudasai	Por favor se abrigue
たばこ タバコ	Tabako	Cigarro	ただちに ただちに	Tadachini	Imediatamente
でんき (電気の) コード	(Denki no) Koodo	Fio (elétrico)	むかいます 向かいます	Mukaimasu	Estar em direção
ストーブ Sutoobu	Sutoobu	Aquecedor	どうしましたか どうしましたか	Doushimashitaka	O que aconteceu?
カーテン Kaaten	Kaaten	Cortina	やけど 火傷	Yakedo	Queimadura
			みず 水	Mizu	Água

1

活動の様子



9 交通事故

事故にあったときの処理手順を知る
自動車保険や自転車保険のことを知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
02(04)0404 交通事故に対処する

つながる相手

★ 協力：警察署、保険会社

活動進行表（例）



準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト、保険証（自賠責、任意）、過失割合クイズのイラスト	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、休みにしたこと）	★グループ分け
14:15	ゲーム「後だしじゃんけん」	
14:20	「学習確認シート(前半)」記入	
14:25	テーマ提示	
(5分)	交通事故に遭ったこと、遭いそうになってヒヤッとしたこと ぶつかった、ぶつけられた、（車が）へこんだ、警察、保険会社 おじいさん、フラフラ	
14:30	グループ対話	
(15分)	・交通事故や、ヒヤッとした経験をグループで話す	
14:45	共有	
(15分)	・グループごと発表 ・事故にあったときの対処の流れを確認	
15:00	テーマ提示2「保険」	
(15分)	・車を持っている人は自賠責保険、任意保険に入っているか確認 ・弁護士費用特約の紹介 ・自転車の保険の紹介	
15:15	クイズ「過失割合」	
(15分)	事故が起きた場合の歩行者、自転車、自動車の過失割合についてクイズ →大きな事故の場合や相手がケガや死亡した場合、大変なことになるので任意保険に入っていない場合は加入を促す	
15:30	ペア対話 3分×2回	
15:37	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:55	全体会	
16:00	終了	

10 買い物

買い物でよく使うことばを知る
商品の場所などを日本語で聞ける
日本語で自分の希望通りの注文ができる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
05 (08) 物品購入・サービスを利用する

つながる相手

杏林堂上岡田店
バロー磐田店
マクドナルド磐田
バロー店



★ 家族・友人
★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、活動進行表、 広告チラシ、キーワード・イラスト ★協力店には、事前に tel 又は訪問し趣旨を説明して受諾を得る	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな動物）	
14:05	学習確認シート(前半)記入 テーマ提示「買い物」 杏林堂で買い物の体験 マクドナルド磐田バロー店で注文体験 ・チラシのお得情報をチェック	キーワード提示 杏林堂、バローチラシ
14:15	車に乗り合せて出発（車：参加者で相談）	
14:30	杏林堂に到着	
(25 分)	・商品名を確認したり、店員さんに質問をしたりする。 ・ポイントカードの仕組み、使い方を知る。	店内配架チラシ
14:55	杏林堂からバローに移動（徒歩）	
15:00	バローに到着	
(25 分)	・商品名を確認したり、店員さんに質問をしたりする	店内配架チラシ
15:25	バローからマクドナルドに移動	
15:30	マクドナルドに到着	
(30 分)	・実際に日本語で注文をしてみる。 →できれば自分の希望の注文まで細かく（ピクルス抜いて欲しい、コーヒーの砂糖多め等）	
	ふり返り 学習確認シート(後半)、学習記録記入 お知らせ ・次回のテーマ・予定表の配布	マクドナルドの客席 を利用
16:00	現地解散（ワークピアに戻る人は車で移動）	

教材例

★実際に買い物に行く前に、準備の回を設けてもよい。使用するワークシート例（下）

レジでのやりとり



←レジ

自分の言いたいことを どうやって伝えるか、メモしましょう



ふくろ/レジぶくろ



ポイントカード



カード
現金
(お)支払い



レシート

か 買いたいものがあるか聞く



すみません、 がありますか。

か 買いたいもの

自分の国のことば↓	にほんご 日本語↓

活動の様子



10 買い物

11 携帯電話の購入・契約

携帯を買うときのやりとりができる
料金の仕組みや契約に必要なものを知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
05(08)0801 対面販売で購入する

つながる相手

au ショップ磐田豊田
(ヤマハ発動機ビズパ
ートナー株式会社モ
バイル通信事業部)



★ 家族・友人
★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、活動進行表、キーフレーズシート、キーワード・イラスト ★協力者とは、事前に内容の打合せを行う	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな飲み物）	通訳
14:10	ゲーム「マッチョマンジャンケン」	
14:15	導入 スマホや携帯の料金はいくらくらい？契約でわからないことは？自分の使い方に合ったプランを選ぶように。 学習確認シート(前半)記入	
14:15	テーマ提示「携帯の使い方」	学習確認シート配付
14:20 (5分)	自分の使い方を説明する キーフレーズ① 「今は～です。」今は au です。 「～をよくつかいます」電話をよく使います。LINE や Facebook もよく使います。 「～は（あまり）つかいません。」Whatsapp は使いません。	イラスト キーフレーズ
14:25 (10分)	グループ対話 グループで、自分の携帯の使い方を日本語で話す。難しい時にはキーフレーズシートに沿って行ってみる。 話せる人は、無料通話、データ使用量、Wi-fi 環境、わからないこと・不満なことなど、話題を広げて話す。	キーフレーズシート 配付
14:35 (5分)	キーフレーズシートに書く 自分の携帯の使い方を記入。 時間があれば、書いた内容を見ないでいえるか補助者と確認	
14:40	6. 発表	

(10分)	できれば全員、人数により、学習者のみ、またはグループで1人	
14:50	7. 講師のお話	
(30分)	・auのプランについて(20分くらい) ・質疑応答(10分くらい)	
15:20	8. ペア対話(3分×2回)	
(10分)	3分×2回	
15:30	9. 振り返り	
(10分)	・学習確認シート(後半)、学習記録を記入	
15:40	・感想ひとことずつ	
(5分)		
15:45	10. お知らせ	
(10分)		
15:55	11. 全体会	

教材例

キーフレーズシート

キーフレーズ① Fraz de hoje 1 IMA WA DESU う は です WO YOKU TSUKAI MASU を よく つかい ます WA AMARI TSUKAIMASEN は (あまり) つかい ません
キーフレーズを ^か書いてみよう Vamos escrever _____ _____ _____ _____
メモ _____ _____ _____ _____

イラスト



キーワード

でんわ

しょうりょう
データ使用料

ライン

Wi-fi ワイファイ

活動の様子



11 携帯電話の購入・契約

12 ららぽーと探検

総合案内所で何ができるかを理解する。
知りたいことを質問できるようになる。

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
05(08) 物品購入・サービスを利用する

つながる相手

ららぽーと磐田
総合案内担当者

協力者

教室参加者

伝える相手

★ 家族・友人
★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、学習確認シート、活動シート、キーフレーズシート、学習記録、ホワイトボード（小）3枚、ホワイトボードマーカー、提示用キーワード／イラスト、バインダー（大10、小20）、マグネット、館内マップ（当日用意）、受付テーブルセット：集金箱、おつり、領収書、印鑑、名札ケース、名札、出席スタンプカード、スタンプ、えんぴつ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
13:00	LaLaClub ルームに集合、会場準備	自己紹介例を補助者と共に行う。グループメンバーで行う
13:15	資料、活動内容の共有	
13:45	受付、開始までグループに分かれて座る	
14:00	あいさつ、今日の目標と流れの説明	
(5分)	学習確認シートの配付(全員) 今日の目標（前半）を記入	
14:05	アイスブレイク「積み上げ式自己紹介」	
(5分)	自己紹介をしながらグループメンバー欄を記入	
14:10	提示「ららぽーと探検」	
(10分)	1. <u>総合案内で出来ることを確認</u> 総合案内所キーワード提示 ①忘れ物②迷子③車いす、ベビーカー貸し出し④店舗利用（お店）⑤交通アクセス（バス、タクシー） 学習者が挙げた物から順にイラスト提示後、キーワード提示	
	2. <u>総合案内所での質問の仕方</u> スキット「すみません、ちょっといいですか」「～んですが」「どうも」 キーフレーズ提示、キーフレーズシート配付	
14:20	グループ対話	スキット後にキーフレーズを1つ1つ張り出す
(10分)	学習者が1人でどのような質問ができるか考える(3分程度)	QRコードでボルトガル語版の案内に

	グループで質問を言い合う。※補助者が率先して行う	について紹介
14:30	総合案内で質問、館内探検	
(30分)	活動シート配付、活動シートの説明	補助者:日本語のやり取りで気になった部分などをメモ
	学習者の持ち物:活動シート、キーフレーズシート、バインダー、鉛筆	時間管理もお願いします
	補助者の持ち物:学習確認シート、バインダー、鉛筆	
	質問する時間:グループ①14:30②14:40③14:50	
	※混み具合によってはグループ代表1,2名が質問	
	その他の時間で館内を巡り、気になるお店を探す。	
15:00	活動のまとめの時間	
(5分)	自分たちが使った表現、受付で言われて気になった日本語、わからなかった部分の確認	
	※補助者は受付の日本語が分かったかどうか、日本語を話してみてもうだったか、難しかったところはあるか等を質問	
15:05	ペア対話 3分×2回	時間管理
(6分)		
15:11	ふり回り	学習者に各自シートの写真を撮ってもらう
(10分)	学習確認シート(後半)を記入	
15:21	全体会	
(9分)	次回のお知らせ、新規参加者には Facebook ページ、メッセージグループの説明	
15:30	教室スタッフ:振り返り、次回打ち合わせ、会場片付け	
(30分)		
16:00	終了	

活 動 の 様 子



12 ららぽーと探検

13 ポイントカードづくり

申込用紙に必要な情報を記入できるようにする

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

05(08)0801220 ポイントカードや割引券を利用する

つながる相手

ららぽーと磐田

カードデスク担当者

協力者

教室参加者

伝える相手

★ 家族・友人

★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、学習確認シート、学習記録、申込用紙練習シート、ホワイトボード（小）3枚、ホワイトボードマーカー、提示用キーワード／イラスト、マグネット、プロッキー、ひらがな練習シート、ボレチン5月号、活動内容表、ふせん ※申込用紙はカードデスクから持ってきてもらう（当日参加予定人数を伝える） <u>受付テーブルセット</u> ：集金箱、おつり、領収書、印鑑、名札ケース、名札、出席スタンプカード、スタンプ、えんぴつ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
13:00	LaLaClub ルームに集合、会場準備	進行：〇〇
13:15 (30分以内)	資料、活動内容の共有 ・活動シート	
13:45	受付、開始までグループに分かれて座る	
14:10 (5分)	あいさつ、今日の目標と流れの説明 学習確認シートの配付(全員) 今日の目標（前半）を記入	
14:15 (5分)	グループで自己紹介、名前、国、好きな食べ物	
14:20 (15分)	提示「ポイントカードづくり」 <u>1. ポイントカードをどこで作れるかを学習者に確認</u> ①カードデスク ②カード利用可能店舗（店舗の詳細はカード作成時に説明） カードを作るときに必要な情報を学習者に質問 キーワード：お名前、郵便番号、性別、生年月日、ご住所、電話番号①自宅②携帯、メールアドレス、署名 学習者から挙がった順にイラストを提示 最後にまとめて文字（ひらがな＋ローマ字ルビ）も提示 申込用紙練習シートに自分の情報を書き込んで練習する	
		←ポイントカードを作成経験者を中心に質問 学習確認シートに記入

14:35 (15分)	2. カードデスクの担当者から説明 カードデスク担当者の紹介 説明（通訳込み）を受けて実際に申込用紙に書き込む。 書いた用紙を担当者に渡してポイントカードを受け取り、裏面にサイン。既に保有している学習者にはキッズクラブ会員の登録を個別に説明【担当：田中】 グループ対話	通訳：△△さん 補助者：学習者の記入をフォロー（自分の分と一緒に書きながらでも可） カードデスクの担当用のテーブルとイス
14:50 (15分)	自分の持っているポイントカードを紹介する どこで作ったか、どうやって作ったか、お得な利用方法 普段利用するお店でカードを作っていないければ調べてみる ペア対話 3分×2回	時間管理：〇〇
15:05 (6分)	ふり返し	
15:11 (10分)	学習確認シート（後半）を記入 全体会	学習者に各自シートの写真を撮ってもらう（〇〇）
15:21 (9分)	次回のお知らせ、新規参加者には Facebook ページ、メッセージャーグループの説明 教室スタッフ：振り返り、次回打ち合わせ	
15:30	会場片付け	
16:00	終了	

教材例

イラスト



申込書用紙
練習シート

キーワード

ごじゅうしょ
ご住所
GO JU U SHIO

めーるあどれす
メールアドレス
ME E RU A DO RE SU

申込用紙

お名前: _____

郵便番号: _____

ご住所: _____

性別: 男 女

生年月日: 年 月 日

PCアドレス _____

携帯アドレス _____

元号GENGOU (era imperial do japon, japanese era name)

大正TAISHOU 1912/07/30~1926/12/24

昭和SHOUWA 1926/12/25~1989/01/07

平成HEISEI 1989/01/08~2019/04/30

1973ねん	しょうわ48ねん	1989ねん	しょうわ64ねん	2004ねん	へいせい16ねん
1974ねん	しょうわ49ねん	1989ねん	へいせい17ねん	2005ねん	へいせい17ねん
1975ねん	しょうわ50ねん	1990ねん	へいせい18ねん	2006ねん	へいせい18ねん
1976ねん	しょうわ51ねん	1991ねん	へいせい19ねん	2007ねん	へいせい19ねん
1977ねん	しょうわ52ねん	1992ねん	へいせい20ねん	2008ねん	へいせい20ねん
1978ねん	しょうわ53ねん	1993ねん	へいせい21ねん	2009ねん	へいせい21ねん
1979ねん	しょうわ54ねん	1994ねん	へいせい22ねん	2010ねん	へいせい22ねん
1980ねん	しょうわ55ねん	1995ねん	へいせい23ねん	2011ねん	へいせい23ねん
1981ねん	しょうわ56ねん	1996ねん	へいせい24ねん	2012ねん	へいせい24ねん
1982ねん	しょうわ57ねん	1997ねん	へいせい25ねん	2013ねん	へいせい25ねん
1983ねん	しょうわ58ねん	1998ねん	へいせい26ねん	2014ねん	へいせい26ねん
1984ねん	しょうわ59ねん	1999ねん	へいせい27ねん	2015ねん	へいせい27ねん
1985ねん	しょうわ60ねん	2000ねん	へいせい28ねん	2016ねん	へいせい28ねん

活動の様子



13 ポイントカードづくり

14 注文をしてみよう

自分が頼みたい物を正確に頼めるようになる

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

05(08)0801 対面販売で購入する

05(08)0802 飲食店を利用する

つながる相手

★ららぽーと磐田

総合案内担当者

★ららぽーと磐田内

飲食店店員

協力者

教室参加者

伝える相手

★ 家族・友人

★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、学習確認シート、キーフレーズシート、バインダー（小）、学習記録、ホワイトボード（小）3枚、ホワイトボードマーカー、提示用キーワード／イラスト、マグネット、館内マップ（当日用意） 受付テーブルセット：集金箱、おつり、東海精機領収書（押印済み）、名札ケース、名札、出席スタンプカード、スタンプ、えんぴつ、プロッキー	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
13:15	会場準備	キーフレーズシート配付 補助者：フロアガイドの読み方を一緒に確認
13:30	LaLaClub ルームにスタッフ集合	
	資料、活動内容の共有	
13:50	学習者が来たら適宜受付、グループに分かれて座る	
14:05	1. あいさつ、今日の目標と流れの説明	
(5分)	学習確認シートの配付(全員) 今日の目標（前半）を記入 グループで自己紹介、名前、国、今日起きた時間 学習確認シートに「グループメンバー」記入	
14:10	2. 提示「注文をしてみよう」	
(5分)	・普段どこで飲食をするか学習者に質問。 ・どんな風に注文するかを聞く。 ・注文に関するスキット。 キーフレーズ※スキット後に提示 ○○（商品）を××（個数など）ください。／以上です。	
14:15	3. グループ活動	
(15分)	活動の指示、フードコート集合についての周知 館内マップを見ながらグループで買い物したいお店を選ぶ。 対象店舗：館内マップ店舗一覧参照 補助者：学習者の良く行くお店、行ってみたいお店、何を売	

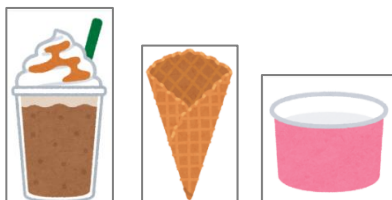
	っているのかわからないお店などを一緒に確認 グループ内で一度練習をしてみる。 補助者：商品名、ドリンク類であればサイズの確認など、想定できる範囲で簡単なやりとりをお願いします。	
14:30 (15分)	4. フードコートなどで食べ物を注文する(持ち帰り可能店舗なども可) 補助者：学習者が日本語で注文するのが不安な場合は事前に一緒に確認、練習 ※メニューが見やすい、事前にメニュー表が貰える店舗がおすすめ(タリーズ、スターバックスなど) →それぞれ注文をして、フードコートで食べる(グループ単位でまとまる)。	持ち物：貴重品、キープレズシート、バインダー 補助者：注文の際に気になった点(店員の言い回しや、学習者の発言)をメモ
14:50 (15分)	5. グループ活動(表現の確認) フードコートで飲食しながら、自分の注文した文章をキープレズシートに記入、グループ内でお互いの内容を確認。 補助者：<u>学習者が使った表現、引っかけた(分からなかった)表現、店員が使った言葉の確認、他に使える言い換えなどがあれば一緒に確認。</u>	上級者用：店員の使った言葉をキープレズシートに書く
15:05	LaLa クラブルームに移動	
15:10		
15:16 (5分)	6. ペア対話 3分×2回	
15:21 (9分)	7. 振り返り	
15:30 (30分)	学習確認シート(後半)、活動記録を記入	
16:00	8. 全体会	
	全員一言感想、次回のお知らせ	
	活動終了	
	振り返り、次回打ち合わせ、会場片付け	
	振り返り終了	

教材例

イラスト



キーフレーズシート



キーフレーズ

A

を

B

KUDASAI
ください。

C

で

ONEGAISHIMASU
おねがいします。

いじょう です。

サンプル



ROCKI ARDO KURIMU
A: タッキーテンドタリーム
HITOTSU
B: ひとつ
KEGYORASAIZUDE
C: レギュラーサイズで、
ECHOHSE
コーンで



EYAKAMESUMARIAATO
A: キャメルマキアート
PUTATSU
B: あつ
KURIMUOOMEDE
C: クリームおめで、
TTOGOCIFPUTSUHADE
チョコチップいれ



HITOTSU
B: ひとつ
ORENJI JYUUSUNOKORISASHI
C: オレンジジュースのごりなし



CHIZURASAGAAHOSETTO
A: チーズバーガーのセット
HITOTSU
B: ひとつ

らへん づい おめ ひ つま ん

注文フレーズをみてみよう/お店の人が使ったフレーズをみてみよう!

14 注文を試みよう

15 運転免許

運転免許の取得の手続きを理解する
外国免許から日本の運転免許への切り
替えの仕方がわかる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
08(14)1401 運転免許の手続等をする

つながる相手

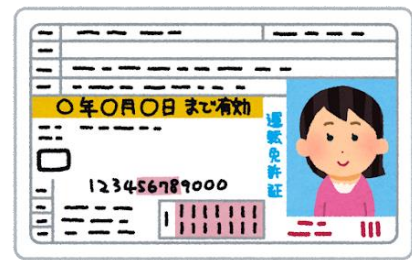


活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、キーワード えんたくん（円卓型ダンボール） 【借用設備】ホワイトボード	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな食べ物）	グループ分け 運転免許の取得状況 もここで確認
14:10	ゲーム「人間知恵の輪」	
14:20	学習確認シート(前半)記入	
14:25 (5分)	テーマ提示「運転免許」 ・日本の運転免許に関するキーワードについて触れ、講師を紹介する キーワード：取得、更新、切替え	通訳有り
14:30 (30分)	講話 講師から新規の取得、外国免許からの切り替えについて説明 質疑応答	
15:00 (25分)	グループ対話 ・既に運転免許を持っている学習者は取得時等の体験談を話してもらう。その他日本とブラジルの免許の制度の違い、交通事情について話題を広げてよい。 その際に出た質問は講師に質問可	〇〇さんにはグループの通訳を担当してもらう 進行役が全体通訳
15:25	ペア対話 3分×3回	

15:35	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:45	お知らせ ・次回テーマについて	
15:50	全体会	
16:00	終了	

活 動 の 様 子



16 教育

日本の教育制度や進学方法について
理解する
公立学校でどんな支援があるか知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
10 (20) 小・中・高等学校で教育を
受けさせる

つながる相手

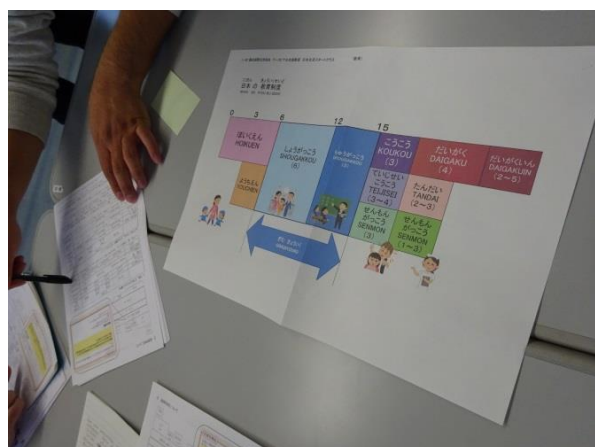
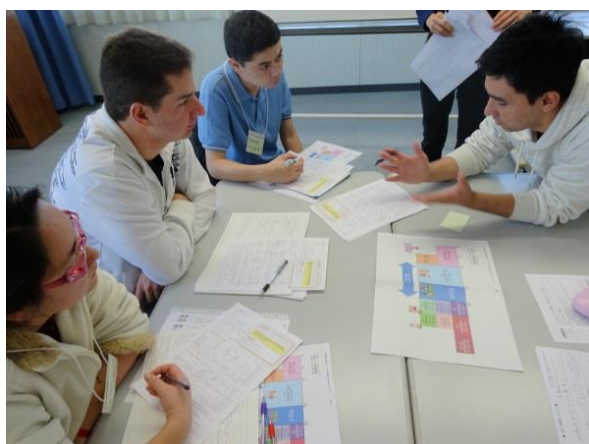


活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、キーワード、イラスト、進学ガイド、教育ローンのチラシ	
時間配分	内 容	備考(注意事項、担当等)
14:05 14:10 14:20	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな果物） ゲーム「誕生日並び」 学習確認シート(前半)記入	質問が出た場合は NIJI サポーターに 確認
14:25 (10 分)	テーマ提示「教育制度」 ・ブラジルと日本の教育制度の違いを知っていますか 知っていることを出してもらう。 ・教育制度（小中高大、専門、短大など、4 月はじまり、受験） ・教育資金（どのくらいのお金がかかるか、制服等の値段、就学支援、教育ローン） ・学校行事（参観会、懇談会、入学式の服装） ・磐田市教育委員会の支援体制（NIJI、取り出し、サポーター、相談員）	
14:35 (25 分)	先輩経験者の紹介 体験者（子どものとき日本に来て大学を卒業）のお話 ・日本の学校での自分の経験、保護者に予め知っておいてもらいたいことを話してもらう。 ・質疑応答	

15:00 (20分)	磐田市教育委員会外国人相談員のお話 ・ 普段、いろいろなお子さんと接する中で感じていること、保護者に知っておいてほしいことを話してもらう。 ・ 質疑応答 ※不安に思うこと、知りたいこと ※宿題はどうしている？本読みカードや提出物について	
15:20	ペア対話 3分×2回	
15:27	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:37	情報提供 ・ 進学ガイド ・ 教育ローン	チラシ配布
15:45	次回について	
15:55	全体会	
16:00	終了、解散	

活動の様子



17 図書館

図書館で本を借りることができる

※「教育」の回で、子どもに読み聞かせをすると良いという話が出て、図書館へ行くことになったので、「V 子育て・教育」に分類する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
20(44)4403130 図書館を利用する

つな がる 相 手



活動進行表（例）

準 備 するもの	個人ファイル、学習確認シート、学習記録、クリップボード、活動進行表 【参加者持ち物】身分証明書（在留カード、運転免許証）	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	ワークピア磐田 1階ロビー集合	配布
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、行きたいところ）	・クリップボード
14:10	学習確認シート(前半)記入 出発準備 ・今日の流れの説明 ・身分証明書の確認 ・グループ分け ・車分乗の指示	・学習確認シート ・学習記録
14:15	移動 ・車に分乗して中央図書館へ	現地解散したい人確認
14:30	図書館の方のお話	
(15分)	・館内の説明や図書館の使い方の説明を受ける	
14:45	グループ活動（2グループに分かれ、館内を回る）	
(30分)	・カード作成（グループごと、2、3人ずつ） 記入のサポートをする ・どんなものがどこにあるか見て回る ※読み聞かせの絵本がある児童書のコーナー等 ・探したい本があれば図書館の方に聞いてみる ・借りたい本やCDを途中で選び、実際に借りる	

15:15 (20分)	・時間外の返却ポストも紹介 - 共有 ・どんな本を借りたかお互いに紹介	
15:35	学習確認シート（後半）、学習記録記入	
15:45	次回のお知らせ、終わりのあいさつ	図書館の方に挨拶
	移動（現地解散希望の人は解散）	
16:00	・ワークピア磐田に戻る	
	終了、解散	

教材例

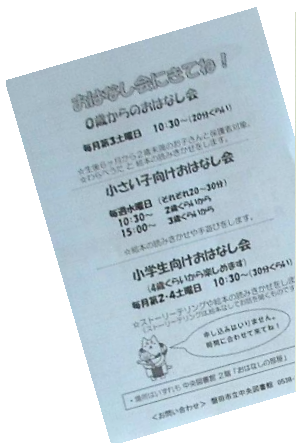
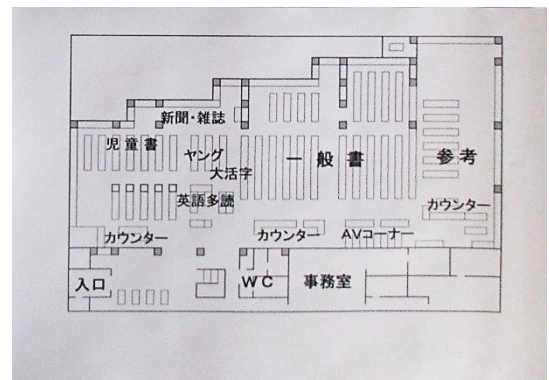
おはなし会チラシ

図書館カレンダー

図書館利用案内

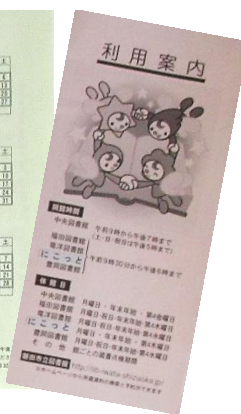
図書館利用申込書→

図書館館内図↓



2019年度 磐田市中央図書館 カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
28 29 30 31 1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14	8 9 10 11 12 13 14	8 9 10 11 12 13 14	8 9 10 11 12 13 14	8 9 10 11 12 13 14	8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28	22 23 24 25 26 27 28	22 23 24 25 26 27 28	22 23 24 25 26 27 28	22 23 24 25 26 27 28	22 23 24 25 26 27 28



←返却ポストには
ポルトガル語と英
語の翻訳がある

18 人事制度・就業規則

給与明細の記載内容を理解する
日本の社会保障制度の大まかな内容を理解する
有給休暇を正しくとることができる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
11 (23)労働条件について理解する

つながる相手



活動進行表（例）

準備 するもの	名札、学習確認シート、キーワード、掲示用給与明細 A3、配付用給与明細 A4、「人事制度・就業規則のことば」チェックシート、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー、イレーサー、付箋紙、プロッキー、タイマー、マグネット、カメラ、座席名札、掲示用目標、掲示用流れ、予備 A4 用紙、レーザーポインタ 【借用設備】ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター、スクリーン、パソコン	
時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
17:15	スタッフ集合、会場準備、グループに分かれて座る	進行：〇〇
17:30	あいさつ、今日の目標と流れを説明 ★目標の日本語の理解を確認する 学習確認シートの <u>まえ</u> の部分を記入 自己紹介＋「今月のお給料で何を買いたいですか」	貼「目標」「流れ」 配学習確認シート 貼キーワード
17:35	アイスブレイク（大嵐）	・輪になって座る 担当：〇〇
17:45 (15分)	提示①「給与明細」 ・声に出して読んでみる。（ <u>金額が入っている項目だけ</u> ） ・意味が分かるか確認。 <u>大まかな意味</u> を説明 「支給額」「控除額」「たす」「ひく」「合計」「差引」 ・計算してみる	投映給与明細 貼キーワード ★〇〇さん、通訳をお願いします。 配給与明細（A4版）
18:00 (30分)	提示②「人事制度・就業規則のことば」 ・チェック表で一つひとつ読み上げながら理解度をチェック メモ欄に本人が説明を書き加える。 ・詳しい説明が必要な項目を説明	配チェック表 貼キーワード ★〇〇さん、通訳を

18:30 (5分)	・有給休暇の取り方（社員さん）	お願いします。
18:35	ペア対話 2分×3回 ・自由会話	
18:42	学習確認シート記入 ・正しく書けるように補助してください。漢字もホワイトボードに書いて使ってもらってください。 ・「今日の感想」と「具体的に知りたいこと」はインドネシア語で書いてもいいです。	
18:50	全体会 ・感想	
19:00	終了	

教材例 ①

給与明細 きゅうよ めいさい		
2019年1月		
基本給	きほん きゅう	
勤務手当	きんむ てあて	
支給額合計	しきゅう がく ごうけい	
健康保険料	けんこう ほけん りょう	
厚生年金保険料	こうせい ねんきん ほけん りょう	
雇用保険料	こよう ほけん りょう	
欠勤控除	けつきん こうじょ	
課税対象額	かぜい たいしょう がく	
所得税	しよく ぜい	
住民税	じゅうみん ぜい	
控除額合計	こうじょ がく ごうけい	
差引支給額	さしひき しきゅう がく	

教材例 ②

人事制度・就業規則のことば(説明資料)		
用語	説明箇所	内 容
給与明細		
基本給	要説明	
勤務手当	要説明	時間外25%、深夜25%、法定外休出35%、法定休出35%
支給額合計	要説明	
健康保険料	要説明	病院で治療を行う時に適用される保険制度。治療費の負担が50%となる。
厚生年金保険料	要説明	65才以上もしくは障害が1級等になった場合に適用される保険制度。帰国時に退還一時金が支給される。
雇用保険料	要説明	労働者が失業した時の保険制度。
欠勤控除	要説明	
課税対象額	要説明	
所得税	要説明	所得額に応じた税金。
住民税	要説明	所得額に応じた税金。前年の所得に対して課税されるため2年目から発生。
控除項目合計	要説明	
支払日	要説明	
通勤手当	要説明	
賃金(給)発生基準	要説明	
労災補償	要説明	法定の補償をする。

19 職場のやりとり

職場のあいさつの言葉を知る
 職場で使う言葉を聞いて理解できる
 職場で言いたいことを日本語で言える

標準的カリキュラム案で
 取り上げる生活上の行為の事例
 (30) 職場の人間関係を円滑にする

つながる相手

★ 教室参加者、職場の日本人



活動進行表（例1）

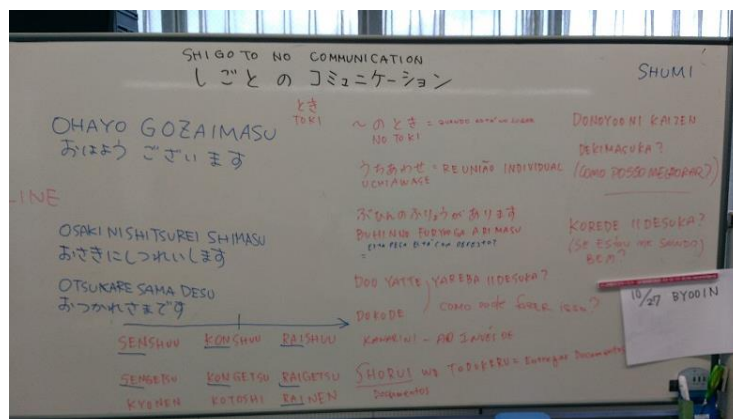
準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習シート、学習記録、ワークシート、ホワイトボード（小）、マーカー、マグネット、活動進行表／キーワード／イラスト等、	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、趣味）	ワークシート個人作業
14:10	ゲーム「あっちむいてホイ」	
14:15	学習確認シート（前半）記入	
14:20	提示：仕事の時、どんな日本語を使いますか？（出してもらい、	
(10分)	板書またはフレーズ提示） ・朝（夜？）、職場に行ったとき ・帰るとき ・何かを頼みたいとき ・お礼 仕事では、いろいろな場面があります（朝礼、作業中、休憩、打合せ、飲み会など提示）。日本語でなんと言うかわからなくて困ったことはありますか。思い出して、メモしてください。	
14:30	グループで話す	
(30分)	・日本語がわからなくて困ったときはどんなときか ・どんな日本語を使えばよいか	
15:00	発表	
(10分)	グループで出た話題を共有。	
15:10	情報提供：職場でよく使われるフレーズ	
(15分)	飲み会のときの会話の動画を見てみよう 聞き取れたことばを書く。→意味確認 「お疲れさまです」「お世話になって…（お世話になります）」 の使い方確認	
15:25	ペア対話（3分×2回）	
(10分)	3分×2回	
15:35	学習確認シート（後半）、学習記録記入	
15:45	ふりかえり 感想ひとことずつ	

15:53	お知らせ	
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例・活動の様子



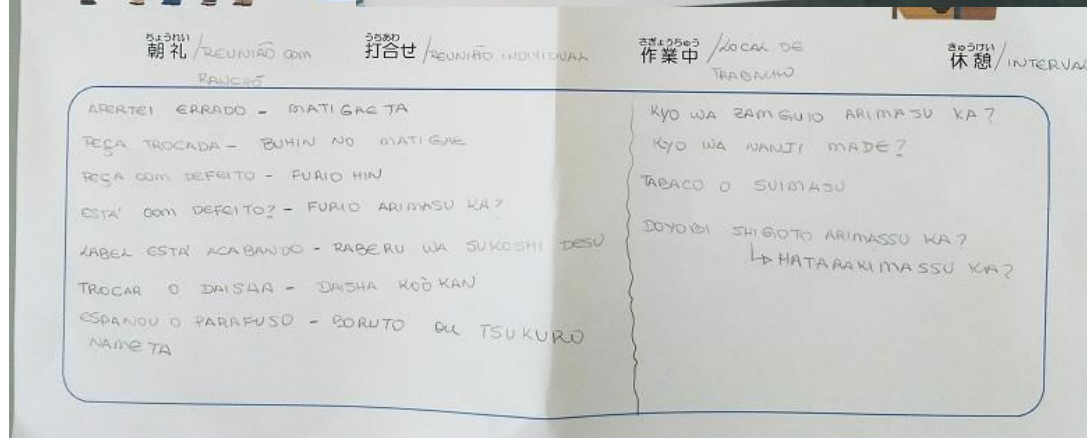
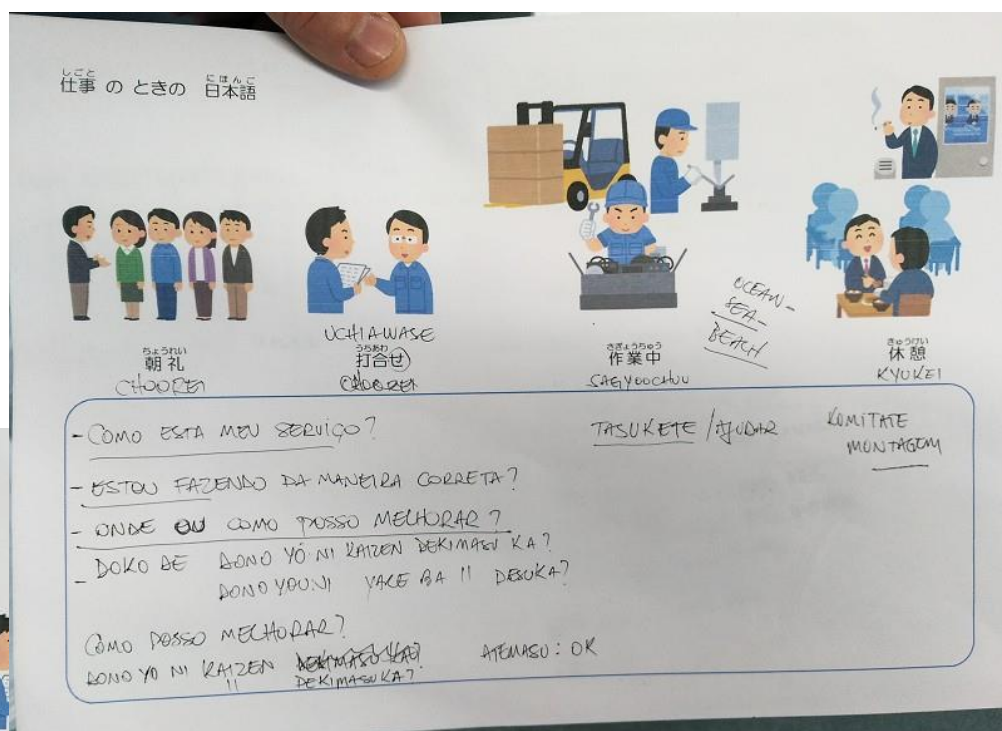
ワークシート↑



板書（学習者から出てきたことばを書きとめ、意味は通訳できる人に確認）↑

- 1 自分が知りたいことばを個人作業で書く。
- 2 グループ対話でわかったことをメモする。

活用例↓→



活動進行表（例2）

準備するもの	活動進行表（例2）	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
	個人ファイル、名札ケース、名札用紙、席次札、今日の目標、今日の流れ、学習確認シート、学習記録、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、メモ用紙、予備鉛筆、活動進行表、ワード、イラスト、付箋、模造紙、じゃがいも2個、A4白紙	
14:05	準備 テーマ書く、目標と今日の流れを貼る	
14:10	あいさつ、自己紹介（名前、国、誕生日）	板書「 ^{たんじょうび} 誕生日」
14:15	ゲーム「バタタ・ケンチ（熱いじゃがいも）」	じゃがいも実物
	今日のテーマ、目標、流れ説明、講師紹介	★通訳「職場」の意味
	「学習確認シート」記入	
	提示1「職場の会話」	
14:25 (10分)	みなさん、職場では、どんな会話をしていますか？ カテゴリー分け あいさつ、質問する、連絡・報告（進捗・失敗・病気） 今日は、 <u>職場での人間関係を良好にするために</u> 、「ほめることば」を学びます。	出された言葉を書いて貼る(A4白紙) 事前に用意「お疲れ様です」「お先に失礼します」「ありがとう」「よろしくお願ひします」「残業」「休み」「やきん」
14:35 (15分)	提示2「ほめる」 「その〇〇、いいですね」「いつも笑顔が素敵ですね」	
14:45 (15分)	グループ活動 ①「いいところ探し」付箋にほめたい物やことの単語を書いて、その人のところに貼る【Thinking time】 まず初めに自分のいいところを書く 次に、グループのメンバー ②付箋をみながら、順番に言ってみます。 一人、1フレーズで順番に、次々といいます。 ③文章で書く。文字はレベルに合わせる。（漢字まじり、ひらがな・カタカナ、ローマ字） 共有「相手に向かって言ってみよう！」 ほめるほかに、感謝のことばもよい関係性をつくれますね。	★通訳さん、ポ語→日本語、日本語→ポ語 翻訳して付箋に書き足してください。
15:00 (20分)	講話「正社員になると...」「正社員になるためには...」 講師：(財)静岡県国際交流協会 ※初めて聞く言葉を書きとめる 質疑応答	★通訳お願いします。
15:20	活動のまとめ グループ→全体で共有、感想	
15:30	ペア対話 3分×3回	
15:40	学習確認シート、学習記録記入	
15:50	お知らせ、次回について	

15:55	全体会	
16:00	終了	

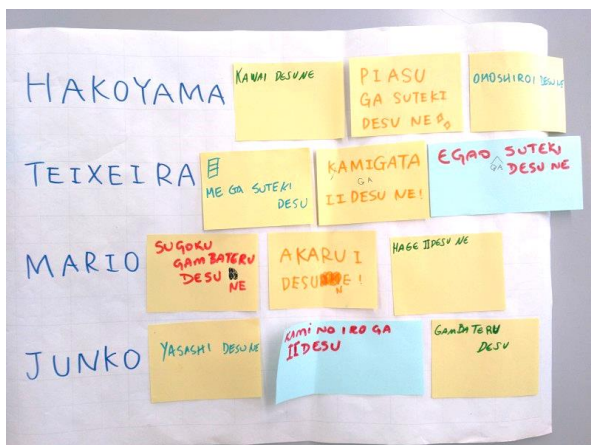
活動の様子



←提示とグループ対話↓



グループ対話 相手のいいところをほめる



20 給与明細

給与明細の見方を理解する
本俸と各種手当を理解する
各種控除を理解する

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

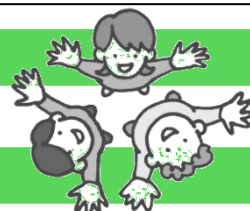
11 (22) 2203070 雇用にかかわる保険を理解する

(23) 2302 給与明細について理解する

17 (37) 3701020 社会保険のシステムを理解する

つながる相手

★ 教室参加者、職場の日本人



活動進行表（例1）

準備するもの	活動進行表、今日の目標、今日の流れ、学習確認シート、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、五十音表、マグネット、メモ用紙、A4 白紙、タイマー、カメラ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
準備	【前ホワイトボード】 テーマ書く。目標、今日の流れを貼る。マグネット用意。 【各テーブル】五十音表、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、メモ用紙を用意。	
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、昨日寝た時間）	何時に＋動詞（過去形）、何時間＋動詞 学習確認シート配付
14:10	ゲーム「後出しジャンケン」	
14:15	今日のテーマ、今日の目標、流れ説明、自己評価	
(5分)	①テーマ説明 ②目標説明 ③流れ説明	
14:20	講師紹介	※給与明細を持参した人は自分のもので、無い人はサンプルを使用 ◎グループ活動
14:25	提示1 給与明細の概要	
(15分)	「もらうもの（給料・手当）」、「払うもの・天引き（保険料・税金）」、「手取り」 ◎自分の給与明細で確認してみよう！	
14:40	提示2 健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料	
(25分)	種類、目的、算出方法 ◎自分の保険料が正しく計算されているか確認してみよう！	◎グループ活動
15:05	提示3 所得税と市民税・県民税	◎グループ活動
(20分)	種類と納入のタイミング ◎自分が払っている税金を確認してみよう！	
15:25	ペア対話	
(10分)	3分×3回	

15:35 (10分)	学習確認シート、学習記録記入 ①学習記録 ②あたらしいことば、きょうのフレーズ ③目標達成自己評価	
15:45	お知らせ、次回について	
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例

給与明細に出てくるキーワード（掲示用）

もらうもの MO RA U MONO	き ほん きゅう 基 本 給 KI HON KYUU	て あて 手 当 TE ATE	じかんがい てあて 時間外手当 JIKAN GAI TEATE	つうきん てあて 通勤手当 TUUKIN TEATE
はら 払うもの HARAU MONO	てん び 天 引 き TEN BI KI	ほ けん りょう 保 険 料 HO KEN RYOO	ぜい きん 税 金 ZEE KIN	けんこうほけん 健康保険 KENKOU HOKEN
こうせいねんきんほけん 厚生年金保険 KOUSEI NENKIN HOKEN	こよう ほけん 雇用保険 KOYOU HOKEN	しょ とく ぜい 所 得 税 SHO TOKU ZEI	しみんぜい・けんみんぜい 市民税・県民税 SHIMINZEI KENMINZEI	

活動の様子



21 働き方

自分の働き方について考える

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
11(22)就職活動をする
(23)労働条件について理解する

つながる相手

- ★ 静岡県国際交流協会
- ★ 外国人雇用企業
- ★ 正規外国人社員



- ★ 家族・友人
- ★ 地域の外国人

活動進行表（例）

準備するもの	☐ 個人ファイル ☐ 名札ケース ☐ 振り返りシート ☐ 学習記録 ☐ 付箋紙 ☐ 模造紙 ☐ プロッキー ☐ ホワイトボード（小） ☐ ホワイトボードマーカー ☐ マグネット ☐ 活動進行表 ☐ 提示用のイラスト、写真、キーワード ☐ ワークシート ☐ PC 【借用機材】プロジェクター、スクリーン、延長コード	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
開始前	（プロジェクター・スクリーン・PC セッティング）	
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、今一番欲しいもの）	
14:05	ゲーム「足ジャンケン」 ・相手を探して勝ち抜き形式	グループ分け：〇〇さんお願いします
14:15 (5分)	提示「働き方」 ・自身の仕事（臨時職員：国際交流協会スタッフ）の内容と、選んだ理由、仕事について感じていることについて話す。	通訳：〇〇さんお願いします
14:20 (15分)	グループ対話 ① ・グループで、自身の仕事の内容と、仕事について感じていること（良いこと、改善したいことなど）を話す。補助者は付箋に書きとめ、模造紙に貼る（できれば日本語とボ語併記で） ・現在仕事をしていないひとは、「こんな仕事をしたい」等の話をする。	
14:35 (10分)	共有（他のグループの模造紙を見て回る） ・付箋の内容が日本語のみの場合は通訳、補助者がフォローする	

14:45	講師のお話 ①	通訳：〇〇さんお願いします
(10分)	(公財)静岡県国際交流協会 〇〇様	
14:55	講師のお話 ②	
(20分)	会社名 〇〇様	
15:15	質疑応答	
15:25	グループ対話 ②	各種チラシ用意
(15分)	・お話を伺って、「これから どうなりたいか?」「そのために必要なことは?」「今できることは?」など感じたことを話し合い、ワークシートにまとめる。	
15:40	ふりかえりシート、学習記録記入	
15:50	お知らせ	
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例

日本生活スタートクラス 「働き方」 2018.06.17
NIHON SEIKATSU STARTO KURASU...HATAPARAKATA

名前
NAME

今の仕事を選んだ理由
IMANO SHIGOTO WO ERANDA RYUU

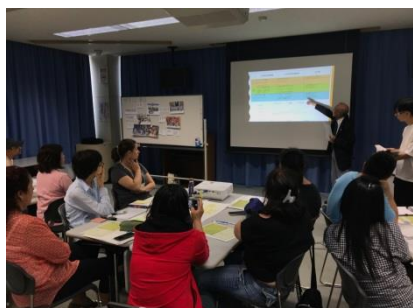
これから どうなりたいか?
KOREKARA...DOU NAITAI KA?

そのために 必要なことは?
SONO TAME NI...HIYOSU NA KOTO WA?

今できることは?
IMA...DEKIRU KOTO WA?

メニュー
MENU

活動の様子



22 労働者を守る法律

日本の労働に関する法律を知る
法律違反があったときの相談先を知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
11(23) 労働条件について理解する

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト等、ポインター、パソコン接続のアダプター 【借用設備】プロジェクター、スクリーン	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、出身地）	（事前）投影準備と動作確認、日付・テーマを書いておく
14:10	ゲーム「肩上げて下げて」	
14:15	「学習確認シート(前半)」記入	
14:20	法律についてのお話（弁護士の先生、通訳：〇〇さん）	
(30分)	質疑応答	資料配布
14:50	ペア対話	先生にお礼
(30分)	3分×3回	
15:20	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:30	お知らせ	
15:45	次回について	
(5分)	・「図書館へ行こう」集合場所1階ロビー	持ち物：身分証明書
15:55	全体会	・在留カード
16:00	終了	・運転免許証 など

教材例

- ・講師作成のパワーポイント資料

べんごし への そうだん

- ・ざんぎょうだい を はらって くれ ない。
- ・もらはら・ぱわはら・せくはら を された。
- ・かいしゃ を やめさせられた。

もらはら・ぱわはら

- ・どのような いやがらせ が あったか。
- ・それが どれくらい つづいた か。

- ・法テラスのチラシ（やさしい日本語）



活動の様子



23 近所づきあい

近所の人と親しくなるためのきっかけ
づくりを知る
地域の情報を得られるようになる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
14(31)人と付き合う

つな がる 相 手



活動進行表（例）

準備するもの	えんたくん（円卓型ダンボール）、個人ファイル、名札ケース、学習シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、提示用の写真（回覧板表紙、裏表紙）、広報いわた、自治会の書類（年間行事計画・ゴミ当番表・電話連絡網）、ポ語版広報いわた（Boletim）、マグネット、活動進行表	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな色）	グループ分け 〇〇さんお願いします
14:10	ゲーム「拍手ゲーム」	
14:20	学習確認シート(前半)記入	
14:25 (10分)	テーマ提示「近所づきあい」 ・寸劇で、引越しのあいさつと、自治会の書類をもらうところを再現 ・回覧板と広報いわたでの情報の見方、ポルトガル語版広報いわたの配布場所について確認 ・近所の方とどんなつき合いをしているか、地域の情報をどこで得るかをグループで話すよう指示	
14:35 (25分)	グループ対話 ・グループで、自分の近所づきあいや、地域の情報をどのように得ているかについて話す。	
15:00 (10分)	共有 ・グループごとに前に出て、一人ずつ、自分がどのように地域の情報を得たり、近所の人とつき合っているかを話す。	回覧板実物（無ければ写真）を見せる

15:10	ペア対話 3分×3回
15:20	学習確認シート(後半)、学習記録記入
15:35	ふりかえり ・今日の感想を話す
15:45	お知らせ ・次週休みと次回のテーマについて
15:50	全体会
16:00	終了

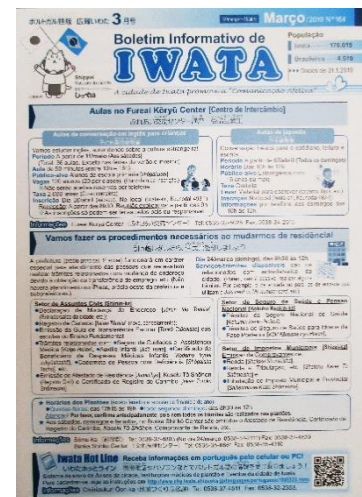
教材例



回覧板表紙



広報いわた



ポルトガル語版広報いわた



24 豊田ふれあいフェスタ 準備会その1

フェスタでやりたいこと、できることを話す
意見を出し合い、話し合いを進める

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する

つな がる 相 手

★豊田ふれあいフェスタ
実行委員会
(交流センター、自治会)

協 力 者

教室参加者

伝える相手

★ イベント来場者
★ 地域の日本人

活動進行表（例）

【1日目】

準備 するもの	□提示用写真 □カレンダー □教室紹介パネルの例 □付箋紙 □模造紙 □プロッキー □メモ □ホワイトボード（小） □ホワイトボードマーカー □マグネット □昨年のフェスタの写真	
時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
19:10	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな飲み物）	写真提示
	ゲーム（リーダー探し）	
19:15	提示	
	・昨年のフェスタの写真を見て、何をしたか、どんな様子だったかイメージを共有	
	・フェスタ当日までの日程と計画を提示	
19:20	グループで話し合い	
	・今年のフェスタの案を出し合う	
	販売料理、ゲーム、パネル展示について	
20:00	共有	
	・グループごと、どんな案が出たか発表し共有	
20:15	ペア対話	
20:25	学習記録とふりかえりシート記入	
20:45	活動のふりかえり・次回のお知らせ（次週やすみ）	
21:00	終了	

【2日目】

準備するもの	☐ 提示用写真 ☐ カレンダー ☐ 教室紹介パネルの例 ☐ 付箋紙 ☐ 模造紙 ☐ プロッキー ☐ メモ ☐ ホワイトボード（小） ☐ ホワイトボードマーカー ☐ マグネット ☐ カメラ ☐ ホットラインの登録方法
--------	---

時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
19:05	あいさつ、自己紹介(名前、国、住んでいるところ)	写真
19:10	ゲーム(足じゃんけん)	
19:15	提示① 台風で困ったこと 停電、アンテナ(バルコニーの手すりが折れた)	
19:20	グループ対話①	
19:35	発表(各グループ代表一人)	
19:45	情報提供 ・被害がある場合は写真をとること ・いわたホッとライン登録 ・連絡方法確認(LINE 等)	
20:00	提示② 豊田ふれあいフェスタ ・①当日までの日程を確認 ②会場 ③昨年の内容 ④先週の内容と説明会の情報を合わせて共有 ◆パネル展示(教室紹介1枚) ◆ゲーム(スタンプラリーのゲーム以外は参加費徴収 OK) ①魚釣り②ヨーヨー釣り ◆料理 ブラジル料理 パステウ(カセットコンロ可、要消火器) 台湾料理 ローバツパン	
20:05	グループ対話 ・料理は国別で相談。料理が苦手な人はゲームのグループ でゲームの詳細を考える ※目標:料理…メニュー決定、ゲーム…参加費の有無決定	
20:25	共有 ・グループごとに代表者が話し合った内容を発表して共有	
20:30	ペア対話	
20:40	学習記録とふりかえりシート記入 次回のお知らせ(次週やすみ)	10月5日までに 変更点(火の使用 やゲームの参加費 について)を主催 者に連絡するた め、ゲーム、料理 は今日中に決めたい
20:50	全体写真撮影(教室紹介パネル用)	
21:00	終了	

教 材 例



左：教室から会場までの地図

右：昨年のイベントの様子を模造紙に貼り、イメージの共有に使用

25 豊田ふれあいフェスタ 準備会その2

実行のための具体的な計画を立てる
掲示物やゲームに使う道具を作成する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する

つながる相手

★ 豊田ふれあいフェスタ実
行委員会
(交流センター、自治会等)



★ イベント来場者
★ 地域の日本人

活動進行表（例）

【3日目】

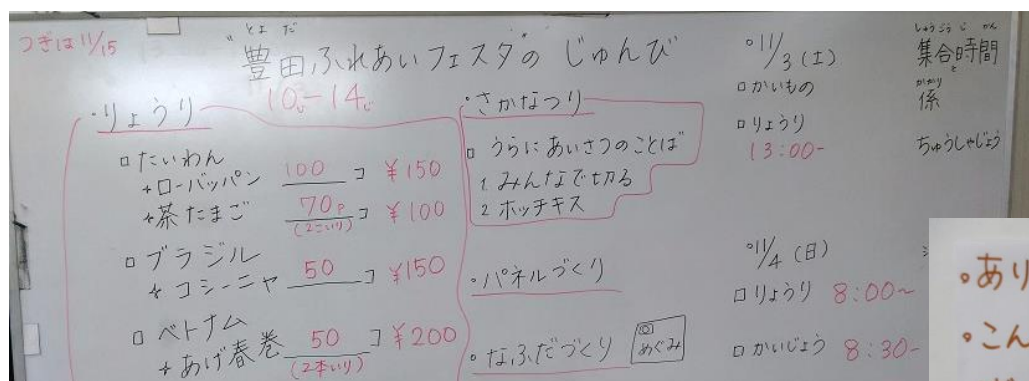
準備するもの	自己紹介提示用ファイル（写真）、A4 白紙、模造紙、ふせん、ブロッキー、カレンダー、以前のフェスタの写真・地図、教室紹介パネルの例、色模造紙、はさみ、カッター、のり、セロテープ、色紙、パネル用写真、ビニールプール、料理詳細記入用紙、メモ用紙、マグネット、カメラ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
19:10	あいさつ、自己紹介（名前、国）	自己紹介は後で時間をとるので簡単に。
19:15	ゲーム（早口ことば、または後出しじゃんけん）	
19:20	※前半は、新規参加者向けに自己紹介	
19:20	提示① 自己紹介 名前、住んでいるところ、家族、仕事、趣味を例に出す。 自己紹介が出来る人、文字を書きたい人は文で書く。 グループ対話 ひとりずつ自己紹介	
19:25	ペア対話	A4 白紙 漢字を書きたい人にはサポートする よく話せる人は補助者側で
19:45	提示② 豊田ふれあいフェスタ	
19:55	・前回まで参加していない人には、これまでの情報を共有	
20:05	・グループに分かれてすすめる内容を指示	
20:10	グループ対話 ◆パネル 教室の写真や色紙を使って作成 ◆ゲーム 魚釣りの道具やルールを考える ◆料理 詳細を詰める ブラジル「パステル」、台湾「ロバッツォ」「茶葉蛋」、ベトナム「春巻」	料理、ゲームなどのグループに分かれる
20:35	共有 ・グループごとに代表者が話し合った内容を発表して共有	

20:40	学習記録とふりかえりシート記入	
	次回のお知らせ（ふれあいフェスタ準備と〇〇）	
20:55	他のクラスにもフェスタのお知らせ&参加確認	
21:00	終了	

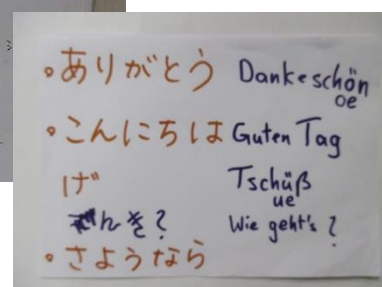
【4日目】

準備するもの	内 容	備考（注意事項、担当等）
	ブロッキー、教室紹介掲示用パネル、教室写真、色紙、はさみ、カッター、のり、セロテープ、ホッチキス、印刷した魚の絵、マグネット、竹竿、テグス、ビニールプール	
19:10	あいさつ、自己紹介（名前、国）	
19:15	ゲーム（名前いもむし）	
19:20	グループ活動 豊田ふれあいフェスタの準備	
19:25	・グループに分かれてすすめる ◆パネル 仕上げ ◆ゲーム 魚釣り道具作成、裏に各国語の挨拶を印刷した魚の絵を切り、ホッチキスの針を付ける、ルールの確認 ◆料理 詳細決定 料理の手順、前日や当日にすること、食材や調理器具の確認、値段・数量・販売容器の決定、 ※値段を掲示する看板、販売数をチェックする用紙は当日までに作成 ※当日使う名札を合間に作成する（国旗貼付）	
20:45	共有 ・グループごとに、できたこと、決まったことを発表する	
20:55	フェスタの日時・集合時間等、再度お知らせ	
21:00	終了	

教 材 例



魚釣りの魚の絵の裏に書く、学習者の母語を確認↓



本番前最後の教室で決めることをリストアップ↑

26 豊田ふれあいフェスタへの参加

地域のイベントに参加し、料理販売やゲームを通じて地域の日本人と交流する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	料理名・値段掲示用画用紙、プロッキー、セロテープ、ガムテープ、名札用紙、名札ケース、集金箱、お釣り、クーラーボックス、発泡スチロール箱、消毒用アルコール、使い捨て手袋、魚用紙、釣竿、ビニールプール、色鉛筆、日本語教室紹介パネル、日本語教室チラシ、いわた ICENEWS、入会案内		
時間配分	内 容		備考（注意事項、担当等）
前日 13:00	【会 場】 準備なし	【交流センター調理室】 料理準備 食材準備のうえ、調理室集合 終了	
当日 8:00		料理開始	
8:30	会場準備開始 教室パネル、販売看板掲示	料理を順次会場へ運搬 学習者は料理と一緒に会場へ	
9:40	フェスタ開始		
10:00	料理販売・魚釣りゲーム開始 【魚釣りゲーム】 ・来場者が魚を釣り、裏に書いてある外国語の挨拶を学習者とする。魚に色を塗る。 【料理販売】 ・コシニャ 50 個、ロバ ッパソ 100 個、茶葉蛋 70 個、春巻 50 個	調理室片付け スタッフが片付け 調理室を閉め、会場へ移動	
14:00	※学習者は交代で休憩をとり、会場内を見に行く		
15:00	販売・ゲーム終了、片付け開始 終了		

教材例

後日教室でとった
アンケート

豊田日本語教室
2018年度とよだふれあいフェスタについて アンケート

名前 Maeda Koko

国籍 BRASILERA

1. 何に 参加しましたか?

前日まで ☒ 準備

当日 ☐ 準備、片付け ☐ 料理 ☐ 販売 ☐ ゲーム

2. ふれあい広場で 自分が やったことに ☒

☐ 教室の みんなと 準備をする → ☐ ☐ ☐

☐ ふれあいフェスタの お客さんと 話す ☐ ☐ ☐

☐ 料理を おいしく 作る → ☐ ☐ ☐

☐ パネルで 教室を 紹介する → ☐ ☐ ☐

☐ ゲーム → ☐ ☐ ☐

3. 次に やってみたいことは ありますか?

{ ☐ ☐ ☐ }

4. ふれあいフェスタの 感想 ☐ ☐ ☐

たのしかった まあまあ たのしめなかった

豊田日本語教室
2018年度とよだふれあいフェスタについて アンケート

名前 YANG ZAI FEI

国籍 中国

1. 何に 参加しましたか?

前日まで ☒ 準備

当日 ☒ 準備、片付け ☐ 料理 ☐ 販売 ☐ ゲーム

2. ふれあい広場で 自分が やったことに ☒

☐ 教室の みんなと 準備をする → ☐ ☐ ☐

☐ ふれあいフェスタの お客さんと 話す ☐ ☐ ☐

☐ 料理を おいしく 作る → ☐ ☐ ☐

☐ パネルで 教室を 紹介する → ☐ ☐ ☐

☐ ゲーム → ☐ ☐ ☐

3. 次に やってみたいことは ありますか?

{ はい、やりたいです。 ☐ ☐ ☐ }

4. ふれあいフェスタの 感想 ☐ ☐ ☐

たのしかった まあまあ たのしめなかった

太のしかった

活動の様子

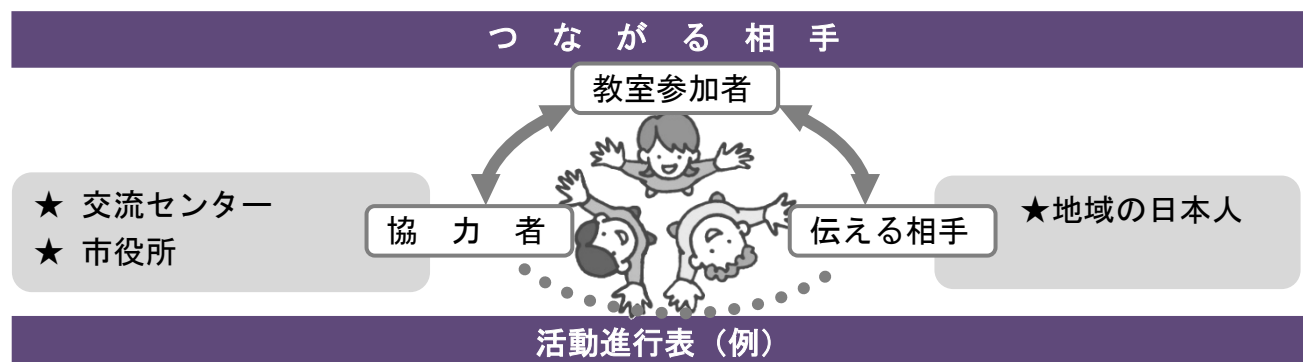


26 豊田ふれあいフェスタへの参加

27 料理交流会の開催 準備会その1

料理交流会のメニューを相談して決める
レシピを日本語で作る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する



【1日目】

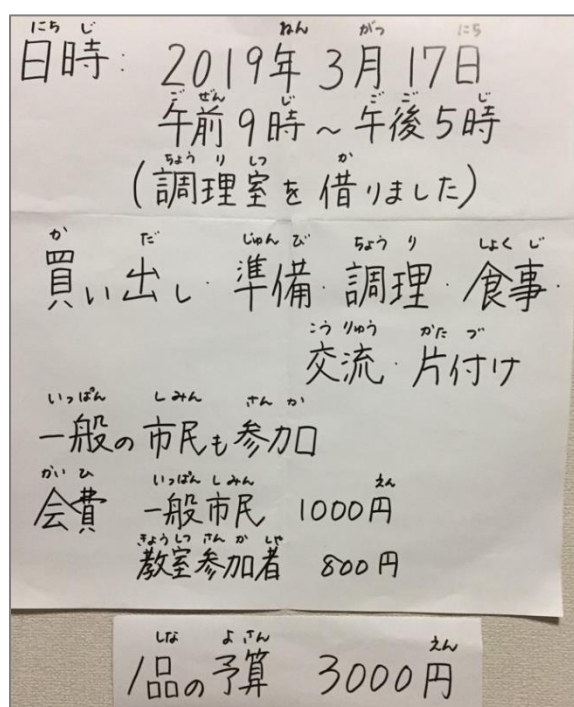
準備するもの	メモ用紙、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー、マグネット、提示用キーワード、提示用写真、ワークシート、学習記録、ふりかえりシート	
時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、昨日の夕食のメニュー） ゲーム「おおあらし」	※『広報いわた』に「料理交流会」の参加者募集記事を掲載依頼（協会事務局から磐田市担当課へ）
14:10	提示「料理交流会」 ・料理交流会について決まっていることを説明する ・一昨年、昨年のメニューを紹介する ・一品当たりの予算を伝える	
14:25	グループで話し合い（出身国別） ・グループでメニューについて話し合う ・材料を相談する	
15:15	発表 ・グループごとに、全員が話し合った内容を発表して共有	
15:30	ペア対話	
15:40	学習記録とふりかえりシート記入	
15:55	お知らせ ・スピーチコンテスト募集 ・次回のテーマ	
16:00	終了	

【2日目】

準備するもの	模造紙、付箋紙、メモ用紙、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー、プロッキー、マグネット、貼ってはがせるのり、提示用キーワード、提示用イラスト、提示用写真、ワークシート、学習記録、ふりかえりシート
--------	--

時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
14:00	あいさつ、自己紹介(名前、国、好きな食べ物)	※「料理交流会」の参加者募集のチラシを作成し協会事務局に配布依頼
	ゲーム「足で紐送りレース」	
14:10	提示「レシピを作る」	
14:25	グループで話し合い(出身国別)	
	・料理の作り方を書き出す	
	・6人前の食材を書き出す	
15:15	発表	
	・グループごとに、全員で、料理の作り方と必要な食材を皆に説明する	
15:30	ペア対話	
15:40	学習記録とふりかえりシート記入	
15:55	お知らせ	
	・次週お休み	
	・次回のテーマ	
16:00	終了	

教材例

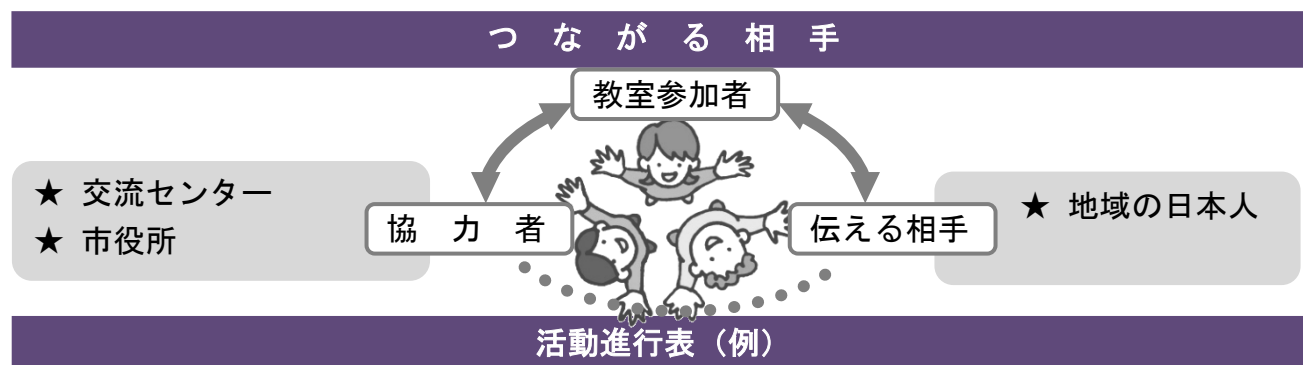


グループ					
りょうりのなまえ					
ざいりょう			しょうかい		
なまえ	りょう	メモ	どうぐ		
つくりかた					
できあがり!!					

28 料理交流会の開催 準備会その2

料理交流会の予算を相談して決める
買い物の計画を立てる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する



【3日目】

準備するもの	模造紙、付箋紙、メモ用紙、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー、ブロッキー、マグネット、貼ってはがせるのり、提示用キーワード、提示用写真、ワークシート、学習記録、ふりかえりシート	
時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きなスポーツ） ゲーム「後出しじゃんけん」	キーワード
14:10	提示「料理交流会」 ・料理交流会について決まっていることを説明する ・一品当たりの予算を伝える	
14:25	グループで話し合い（出身国別） ・グループでメニューについて話し合う ・材料・予算・作り方・調理器具を相談し、ワークシートに記入する	
15:15	発表 ・グループごとに、全員が話し合った内容を発表して共有	
15:30	ペア対話	
15:40	学習記録とふりかえりシート記入	
15:55	お知らせ ・次回のテーマ	
16:00	終了	

【4日目】

準備するもの	模造紙、付箋紙、メモ用紙、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー、ブロッキー、マグネット、貼ってはがせるのり、提示用キーワード、地図、チラシ、ワークシート、学習記録、ふりかえりシート
--------	---

時間配分	内 容	備考(注意事項 担当等)
14:00	あいさつ、自己紹介(名前、国、好きな季節) ゲーム「リーダー探し」	キーワード
14:10	提示「買い物」 ・「いつ」「どこで」「何を」買っているか ・買いたいもの	
14:25	グループで話し合い(出身国別) ・「いつ」「どこで」「何を」買っているか ・買いたいもの ・材料・予算・作り方・調理器具を相談する	
15:15	発表 ・グループごとに、全員で、料理の作り方と必要な食材を皆に説明する	
15:30	ペア対話	
15:40	学習記録とふりかえりシート記入	
15:55	お知らせ ・次回のテーマ	
16:00	終了	

活 動 の 様 子



料理交流会 2019年3月17日(日) 9時～16時30分

ふたにこ

りょうりグループ メンバー

ジエイク	アルドリシ	ミヨマー
リサデリス	アキ	

りょうりのなまえ

ざいりょう

なまえ	りょう	メモ
ふたにこ	1kg	
たまねぎ	1コ	
しょうが	おしロ	
パセリ	18.5	
だいこん	1コ	
ニンニク	1コ	

どろぐ

なべ
まな板
ナイフ
おたま

作り方 (ざいりょう)

- ふたにこをきる。(おろす)
- なべに水を入れる(たくさん) 水の中にふたにこを入れて、煮つける。
- たまねぎ、パセリ、しょうが、だいこん、ニンニクをあらう。
- ふたにこがやわらかくなったら、たまねぎ、だいこん、しょうが(おろす)、を入れる。
- やさいがやわらかくなったら、ニンニクパウダーを入れる。
- パセリを入れる。

29 料理交流会の開催

料理交流会を開催し、地域の日本人に参加してもらい、自国の料理と一緒に作って交流する
参加者同士協力して会を運営する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する

つながる相手

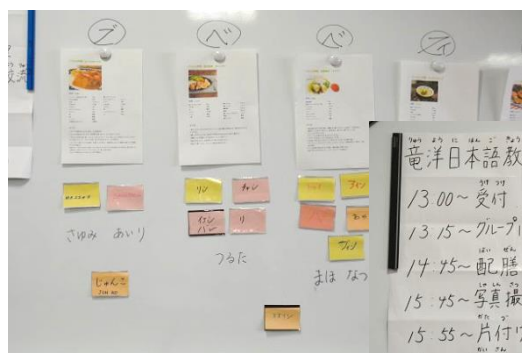


活動進行表（例）

準備するもの	買い物リスト、料理別レシピ、交流会の進行表（掲示用）、名札（ホワイトボード掲示用）、マグネット、消毒用アルコール、キッチンペーパー、ふきん、台ふき	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
9:00	グループ分け、買い出し ・リーダーを確認し、グループ分けをする ・全員で買い出し…リストを参考に食材を選ぶ 会場準備、料理の下ごしらえ ・リーダーを中心に料理の下ごしらえ 昼食	買い物リスト
13:00	受付・会費集金 ・学習者、スタッフは随時受付、集金 ・一般参加者も来た人から受付、集金する 挨拶（教室コーディネーター） 料理紹介（各料理のリーダー）	レシピとグループ分けをホワイトボードに掲示
13:15	～料理交流会開始～ グループに分かれて調理 ベトナム料理 「豚の角煮 ティッホー」 「生春巻き ゴイクン」 フィリピン料理 「シニガンスープ」 「アドボ」 「レチェフラン」 ブラジル料理 「ロールキャベツ」	

14:45	配膳 交流タイム 食事をしながら参加者同士交流する 自己紹介と感想 ・全員ひとことずつ	
15:45	集合写真撮影	
15:55	片付け	
16:30	～料理交流会終了～ 一般参加者解散 調理器具のチェック、調理室の最終清掃	
17:00	終了	

活 動 の 様 子



29 料理交流会の開催

30 夏まつりへの参加

地域の日本人と交流する
浴衣、盆踊りなどの日本の伝統文化を体験する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
16(35) 行事に参加する

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	□参加者名簿 □活動進行表 □浴衣、甚平、草履 □カメラ	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
16:00	豊田北部小学校に集合後、富岡交流センターへ移動 （交流センターの場所が分かる人は直接向かう場合も）	
16:10	浴衣の着付け	
16:50	豊田北部小学校グラウンドへ移動	
17:00	フェスタ富岡 ～開 会～ ・開会式 <u>途中、屋台での買い物や食事をしながら地域の人と交流</u> ・豊田中学校吹奏楽部 鑑賞 ・盆踊り大会への参加 ・ハワイアンバンド「アロハアロハ」 鑑賞 ・フラダンス「ナネア・ヨーコ・フラメイト」 鑑賞 ・閉会式	
20:00	フェスタ富岡 ～閉 会～ 連絡事項：次週お休み	
20:10	富岡交流センターへ移動	
20:20	着替え後、解散	

教材例



ポルトガル語チラシ

フェスタ富岡		2018.08.05(土)
夏祭りプログラム		富岡交流センター
15:20	カギ開ける、荷物運込(川添)	
15:50	駐車場、郵便、会場案内(恵美、川添)	
16:00	着付け(大橋、厚美、諺田、宇野)	
17:00	閉会式	
	着付け終わったら鍵閉めて会場へ	
	豊中吹奏楽部	
18:00	盆踊り大会	
	アロハアロハ	～郵便のカギ閉まっています～ カギ: 川添
19:00	ナアネヨーコフラメイト	
	閉会式	
20:00	カギ開ける、着替え	

スタッフ用スケジュール表

活動の様子



30 夏まつりへの参加

31 自分カレンダーを作ろう

年月日の言い方がわかる
いろいろな物の数え方を知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
18 人生設計をする

つながる相手

教室参加者



活動進行表（例）

準備 するもの	□個人ファイル □名札ケース □振り返りシート □学習記録 □付箋紙 □模造紙 □プロッキー □ホワイトボード（小） □ホワイトボードマーカー □マグネット □活動進行表 □提示用のカレンダー、イラスト、写真、キーワー ド □ワークシート □数え方のプリント	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、自分の誕生日）	
14:10	ゲーム「誕生日順に並ぼう」 ※年は考慮しない。 ・全員輪になって、ことばを使わずに誕生日順に並びかえる。	
14:20	提示「自分カレンダーを作ろう」	グループ分け：〇〇
(10分)	・【冒頭】学習者から数字の言い方や物の数え方を学びたいとい う要望があり、自分の過去や未来のイベントについて話 すことで「年月日」が言えるようになればと今回の活動を 組み立てた旨を説明 ・「わたしのカレンダー」を貼り出し、年月日とイベントにつ いて順に話す。各イベントに関するキーワードやイラスト、 写真をそれぞれ見せる。	さんお願いします 通訳：〇〇さんお願 いします
14:30	グループ対話	
(40分)	・グループで、自分の過去と未来のイベントについて話す。 補助者は付箋やメモを用いて、出てきたキーワードを日本 語で書き留めておく。 話し終わったら各自ワークシートに記入し、自分カレンダ ーを作る。	※数え方のプリント は必要に応じて配布 ペア組合せ：〇〇
15:10	共有（その場で発表）	
(20分)	・年月日の言い方を意識して自分カレンダーの内容を話す。	※補助者サポート
15:30	ペア対話 3分×1～2回	
15:35	数え方のプリント配布、ふりかえりシート、学習記録記入	
15:45	お知らせ ※ 日付の言い方意識	簡単にプリントの説 明をする
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例

[illegible]

つづき おき、あき
月の数え方
TSUKU NI HAZETE KATA

いち がつ
1 GATSU
ICH GATSU

に がつ
2 GATSU
NI GATSU

さん がつ
3 GATSU
SAN GATSU

し がつ
4 GATSU
SHI GATSU

ご がつ
5 GATSU
GO GATSU

ろく がつ
6 GATSU
ROKU GATSU

しち がつ
7 GATSU
SHI CHI GATSU

はち がつ
8 GATSU
HACHI GATSU

く がつ
9 GATSU
KU GATSU

じゅう がつ
10 GATSU
JUJU GATSU

じゅういち がつ
11 GATSU
JUJU ICHI GATSU

じゅうに がつ
12 GATSU
JUJU NI GATSU

ひつづき おき、あき
日付の数え方
HITSUZUKI HAZETE KATA

ついたち
1 TSUITSUCHI

ふたつ
2 FUTATSU

みっか
3 MIKKA

よっか
4 YOKKA

いつか
5 ITSUKA

むいか
6 MUKA

ななか
7 NANAKA

やっか
8 YOKKA

ここのか
9 KOKONAKA

とつか
10 TOOTSUKA

ひつづき
11 HITSUZUKI
JUJU ICHI NO HI

ふたつき
12 FUTATSUKI
JUJU NI NO HI

みづつき
13 MIZUTSUKI
JUJU SAN NO HI

よめつき
14 YOMETSUKI
JUJU YOKKA NO HI

ごめつき
15 GOMETSUKI
JUJU GO NO HI

むめつき
16 MUMETSUKI
JUJU ROKU NO HI

ななめつき
17 NANAMETSUKI
JUJU SHICHINO HI
JUJU NANA

やめつき
18 YOMETSU
JUJU HACHI NO HI

ここのめつき
19 KOKONOMETSU
JUJU KU NO HI

とつめつき
20 TSUTSOMETSU
HATSUKA

ひつづき
21 HITSUZUKI
JUJU ICHI NO HI

ふたつき
22 FUTATSUKI
JUJU NI NO HI

みづつき
23 MIZUTSUKI
JUJU SAN NO HI

よめつき
24 YOMETSUKI
JUJU YOKKA NO HI

ごめつき
25 GOMETSUKI
JUJU GO NO HI

むめつき
26 MUMETSUKI
JUJU ROKU NO HI

ななめつき
27 NANAMETSUKI
JUJU SHICHINO HI
JUJU NANA

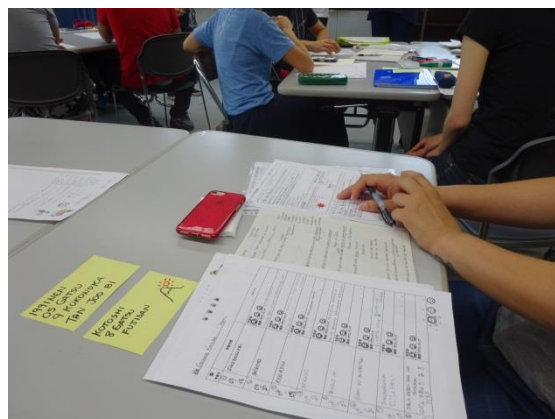
やめつき
28 YOMETSU
JUJU HACHI NO HI

ここのめつき
29 KOKONOMETSU
JUJU KU NO HI

とつめつき
30 TSUTSOMETSU
SANJUU ICHI NO HI

ひつづき
31 HITSUZUKI
SANJUU ICHI NO HI

活動の様子



31 自分カレンダーを作ろう

32 わたし的一天

時刻、時間の言い方を知る
時間に関係する表現を理解する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
18(38)生活設計をする

つながる相手

★ 教室参加者



活動進行表（例）

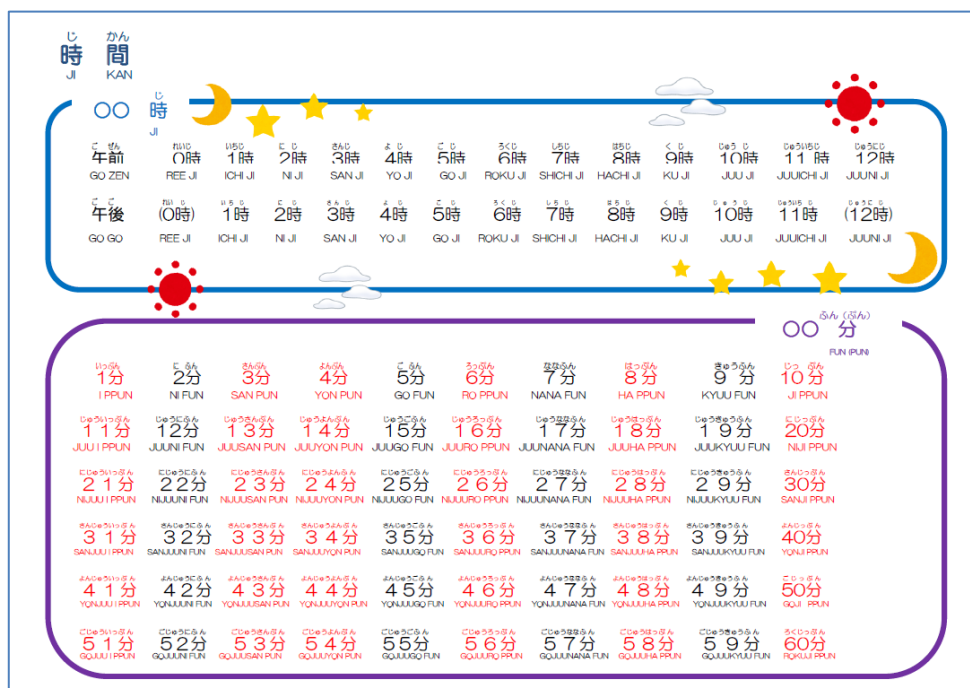
準備 するもの	☐ 個人ファイル ☐ 名札ケース ☐ 振り返りシート ☐ 学習記録 ☐ 付箋紙 ☐ 模造紙 ☐ プロッキー ☐ ホワイトボード（小） ☐ ホワイトボードマーカー ☐ マグネット ☐ 活動進行表 ☐ 提示用のイラスト、写真、キーワード ☐ カテゴリーカード ☐ 時間のプリント	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、今朝起きた時間）	
14:10	ゲーム「早起き順に並ぼう」 ・言葉を使わずに、今朝早く起きた順に並び直す	グループ分け：〇〇 さんお願いします。
14:20 (10分)	提示「わたし的一天」 ※趣旨説明 学習者のふりかえりシートに、時間の言い方を勉強したいとの意見が書いてあったことを説明する。 <u>おおまかに時刻を記した模造紙を掲示</u> - 起床～就寝までの出来事と時刻や所要時間について話し、それぞれ関連するイラストや写真を貼る。 - 最後にそれぞれに該当するカテゴリーのキーワードを貼る。 カテゴリー：睡眠、食事、仕事、家事、自由時間 ※グループ対話の内容指示 - 各グループにカテゴリーのカードを配る。 カテゴリー：睡眠、食事、仕事、家事、自由時間 - 時刻や時間の表現を使って話すように指示する。 「～時間（分）かかる、～時前に、～時すぎに、～時まで等」	時間軸模造紙 イラスト、写真 キーワード カテゴリーカード
14:30 (30分)	グループ対話 - 話したいカテゴリーを選び、それについて時刻や時間を使って自由に話す。 - 補助者は、学習者が話した内容の<u>キーワード</u>をふせんに書き、模造紙に貼り付ける。	

15:00 (20分)	共有：発表 ・各グループ前へ出て、話したいカテゴリーについて発表する。	ペア分け：〇〇
15:20 (10分)	ペア対話（3分×2回）	
15:30 (10分)	ふりかえりシート、学習記録記入 ・時間のプリントを配布	
15:40	お知らせ	
15:50	全体会	
16:00	終了	各種チラシ

教材例

すい 眠 SUI MIN	すい 眠 SUI MIN	すい 眠 SUI MIN
しょく じ SHOKU JI	しょく じ SHOKU JI	しょく じ SHOKU JI
か じ KA JI	か じ KA JI	か じ KA JI

し ごと SHI GOTO	し ごと SHI GOTO	し ごと SHI GOTO
じゅうじかん JI YUU JIKAN	じゅうじかん JI YUU JIKAN	じゅうじかん JI YUU JIKAN



33 ライフプラン

ライフイベントにかかる費用を知る
貯蓄の仕方を理解する

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
18 人生設計をする

つながる相手



活動進行表（例）

準備するもの	□個人ファイル □名札ケース □振り返りシート □学習記録 □模造紙 □付箋紙 □プロッキー □ホワイトボード（小） □ホワイトボードマーカー □マグネット □補助者用活動進行表 □ライフプランのワークシート	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、昨日の晩ごはん）	講師から一般的なライフプランのお話 【ワークシートとライフイベント例】 ライフプランと教育資金の資料
14:05	ゲーム「あとだしじゃんけん」	
14:10 (30 分)	提示「ライフプラン」 ・結婚、出産、教育、老後（退職後）を中心に、一般的にかかる費用や資金調達（貯金、積立、ローン・・・）について話して頂く。	
14:40 (25 分)	グループ対話 ・ワークシートを使って、各自ライフプランを立ててみる 横軸にそって、年齢とライフイベントを書きこむ ライフイベント例を参考にする	
15:05 (10 分)	共有 ・各自ライフプランの発表	
15:15 (20 分)	まとめ・質疑応答 ・学習者の発表をふまえ、講師からのアドバイスや情報提供 ・質疑応答	
15:35	ふりかえりシート、学習記録記入	
15:45	お知らせ、確認事項 ・次回のテーマ「 自己紹介、今年の目標 」	
15:50	全体会	

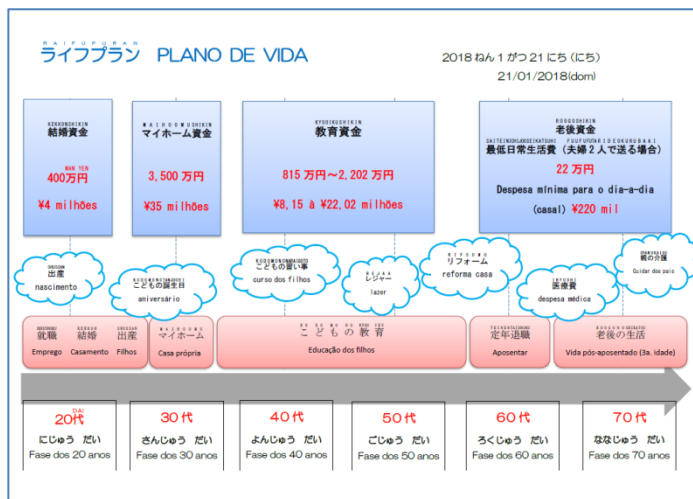
教材例

(なまえ) のライフプラン
seu nome PLANO DE VIDA

2018年1がつ21にち (にち)
21/01/2018(dom)

() さい Ano () さい Ano () さい Ano () さい Ano () さい Ano () さい Ano

いま Presente



こどもの教育費 (一人あたり)

	公立	私立
幼稚園 (3年間)	66万円	149万円
小学校 (6年間)	193万円	921万円
中学校 (3年間)	144万円	401万円
高校 (3年間)	122万円	298万円
大学	290万円	433万円
合計	815万円	2202万円

出典：幼稚園～高校／文部科学省 平成 26 年度「子供の学習費調査」 「学習費総額の状況」 学年横断の学習費総額、大学入学科、授業料／文部科学省「公立大学基礎データ」「平成 26 年度学生納付金調査結果」、大学修学費、課外活動費、通学費／独立行政法人日本学生支援機構 平成 26 年度「学生生活調査」「学生生活調査結果」から算出。万円未満は切り捨て

活動の様子



34 日本語学習法

日本語を習得して、どんなことができる
ようになりたいか具体的にイメージする
様々な学習方法を知る

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
19 (40) 学習目標を設定する
(41) 学習方法を身につける

つながる相手

★ 講師：通訳として活躍している先輩、教室参加者

活動進行表（例）



準備するもの	えんたくん（円卓型ダンボール）、個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、ブロッカー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:00	あいさつ、自己紹介（名前、国、今ほしいもの）	グループ分け：〇〇 さんお願いします
14:05	ゲーム「脳トレ」	
14:10	「学習確認シート(前半)」記入	
14:15	テーマ提示「私の日本語（外国語）学習法」	キーワード提示
(5分)	ポルトガル語の学習について話す いつから、どこで、どうやって、どうなった	
14:20	グループ対話	
(20分)	いつから、どこで、どうやって日本語（外国語）を勉強しているか、始めたところからの変化、何が効果的だったか、などをグループで話す。	並びの指示など含め 10分 全員で車座に座る （イス使用）
14:40	共有 グループで前に出て、一人ずつ発表する。	
14:55	ペア対話 3分×2回	
15:05	先輩の話を聞こう！（座談会形式）	
(30分)	講師：〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん 日本語を ・いつから勉強しているか ・どのように習得したか ・日本語が使えるようになって生活や仕事で変わったこと ・日本語習得に必要なだと思うこと などを話してもらう。（日本語、ポルトガル語） 質問なども自由に。	
15:35	「学習確認シート(後半)」、学習記録 記入	
15:45	日本語を習得してできるようになりたいこと（目標）を書く	
15:50	お知らせ 次回の予定	
16:00	終了	

35 オンラインでの 日本語学習

対面の教室に行けない状況でも、ウェブ会議システムを利用して、オンラインで開催されている日本語教室に参加することができる

標準的カリキュラム案で

取り上げる生活上の行為の事例

19(42)4202080 日本語教室や国際交流のイベントに参加する

つながる相手

★ 教室参加者

活動進行表（例）



準備物	【ホスト、進行役】Zoom 有料アカウント、パワーポイント資料（Zoom 操作、テーマの提示用） 【補助者】対話活動用の紙（A4 用紙）、筆記用具、その他気が付いたことをメモする媒体（活動終了後の振り返りに活用）	
時間配分	内 容	備考
13:40	ルーム入室可能 13:40 頃から補助者のみ（可能な方）で事前打ち合わせ	注意事項①～③を伝えてからブレイクアウトルームに分かれる
13:55	ニックネーム設定 学習者を入室、名前を確認して、ニックネームの設定をする	
14:00	1. あいさつ (5 分) 注意点：突然終了したり、自分だけ抜けてしまう場合がある。その時は落ち着いて、同じルームに入ってもらうように伝える。	
14:05	2. 基本確認 (10 分) ミュートの操作、ニックネームの設定（済んでいない人）	
14:15	3. 自己紹介（全体） (10 分) 名前、国、好きな色	
	4. 事前自己評価と提示 今日のテーマ、目標を言い、事前自己評価をしてもらう。 ジェスチャーで○、△、×をしてもらう（紙に○、△、×でも可）	
14:25	5. グループ対話（ブレイクアウト） (30 分) ① ミュートの解除	
	② グループに入ったら、あいさつをする	
	③ 注意点：（再度）突然終了してしまう、自分だけ抜けてしまう場合がある。その時は落ち着いて、同じルームに入ってもらうように伝える（残っている人たちで対話を楽しむ）。	
	【レベル別にグループ分け。初級者のグループの人は自己紹介はできるので、そこから話題を広げる。】	

	補助者：対話をメインに行い、必要に応じてホワイトボード OR 紙に直接文字や絵を書いて学習者に見せる。 ※ホワイトボードを使用したい場合、画面共有→ホワイトボードを選択。画面共有で、ワードを開いて打ち込んで見せても。 その他：トピックに関連しなくとも、今気になっていることはあるか等質問しながら対話を楽しむ。話題が脱線しても OK！ その他2：パソコン、スマホの画面共有を活用しながら写真、絵をシェアするとスムーズな対話が楽しめるかも。	
14:55 (10 分)	6. グループ発表（全員） グループで話をしたことを発表する。 進行役はグループの GF（グループファシリテーター）を指名。GF はグループメンバーを紹介して、誰が発表するか指名する。 例：GF「私は〇〇さんと、××さんと、△△さんと話をしました。最初に〇〇さん、発表をお願いします」 補助者：同じグループだった学習者が発表する際に、補助できるようにマイクをオンにしておく。	
15:05 (3 分)	7. 学習確認（事後評価） 事後自己評価 ジェスチャーで〇、△、×をしてもらう（紙に〇、△、×でも可）	
15:08 (10 分)	8. ペア対話（ブレイクアウト） 10 分×1 回（残り時間を考慮しながら時間を設定）	
15:18 (12 分)	9. 全体会 感想、今日覚えた言葉（あれば）を一言ずつ 次回のお知らせ	
15:30	10. 活動終了（補助者振り返り）	

【教室開催までの流れ】教室主催者

- 1 参加希望者には、事前に各自が使用する機器（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）に Zoom アプリケーションをインストールしてもらう。やり方がわからない人には対面や電話等で支援。
- 2 メール、メッセージ、LINE 等、主催者から参加者に Zoom のリンクを送れる手段を確保する。
- 3 学習者、支援者に参加希望日を確認する。毎週メール等で確認、または出欠確認ツール（「調整さん」「LINE スケジュール」等）に入力してもらう。
- 4 ホストと進行役を決める。参加人数が多い場合や操作に慣れない場合は、ホストと進行役は別にした方がよい。
- 5 Zoom で教室の予約をする。
- 6 参加希望者に Zoom リンクを送る（メール、メッセージ等）

Zoom 操作説明資料（必要なときに、画面共有で使用します）

①ミュート/ Mudo/ Mute

パソコン/ PC・Computadorここで、ミュートに
(きこえなく)なります/Aqui o Microfone será
Silenciado para Modo Mudo

①ミュート/ Mudo/ Mute

**スマートフォン/
Smartphone・Celular**ここで、ミュートに
(きこえなく)なります/Aqui o Microfone será
Silenciado para Modo Mudo

②カメラオン・オフ/Camera On・Off

パソコン/ PC・Computadorここでカメラの
オン・オフができます/Você pode ligar e desligar a
câmera aqui.

②カメラオン・オフ/Camera On・Off

**スマートフォン/
Smartphone・Celular**ここでカメラの
オン・オフができます/Você pode ligar e desligar a
câmera aqui

③ なまえ(ニックネーム)/Nome/Name

パソコン/ PC・Computadorここで なまえが
かえられます/ Você pode mudar o seu
nome aqui.

③ なまえ(ニックネーム)/Nome/Name

**スマートフォン/
Smartphone・Celular**ここで なまえが
かえられます/ Você pode mudar o
seu nome aqui.

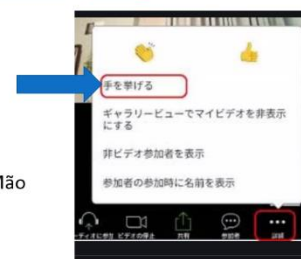
④てをあげる/Levantar a Mão/Raise hand

パソコン/ PC・Computadorリアクションをクリック
/ Clique no Botão de Reaçãoてをあげるボタン
をクリック

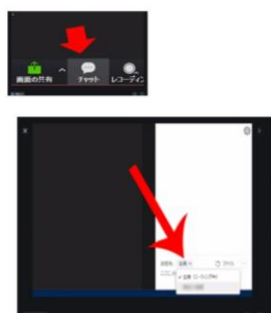
/ Clique no Botão de levantar a Mão



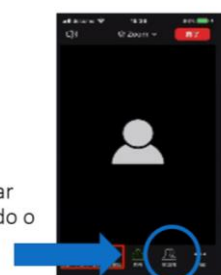
④てをあげる/Levantar a Mão/Raise hand

**スマートフォン/
Smartphone・Celular**ここで
てをあげます/ Você pode Levantar a Mão
clicando aqui

⑤チャット/Chat

パソコン/ PC・Computadorここで
チャットができます/ Você também pode
conversar mandando
mensagens utilizando o Chat
aqui

⑤チャット/Chat

**スマートフォン/
Smartphone・Celular**ここで
チャットができます/ Você também pode conversar
mandando mensagens utilizando o
Chat aqui

活動の様子

ららぽーとは いろんなイベントも 楽しむ たいのめ たいのめ
おススメです。

←提示
↓今日の目標の確認

ぎょう もくひょう
今日の 目標

じぶん す あいて しょうかい
自分の好きなことを、相手に紹介できる。

Sabe apresentar as coisas que você gosta.

Knows how to introduce the things you like.

グループで話したことを発表↓

にほんのしきの どうがを みましょ
『うつくしいにほんのしき』

↑提示
今日の目標の
事前自己評価→

36 ペット

ペットを飼う時の手続きを知る
 ペットを飼う時のルールやマナーを理解
 する

標準的カリキュラム案で
 取り上げる生活上の行為の事例
 20(44) 余暇を楽しむ

つな がる 相 手

★ 講師：動物愛護市民団体、教室参加者



活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、好きな動物）	グループ分け 〇〇さんお願いします
14:10	ゲーム「マッチョマンじゃんけん」	
14:15	「学習確認シート(前半)」記入	
14:20 (3分)	テーマ提示①「飼いたい（飼ったことがある）ペット」 ・どんなペットを飼ったことがありますか（飼っていますか） ・どんなペットを飼いたいですか。どうしてですか。	グループ分け 〇〇さんお願いします 全体通訳：〇〇さん お願いします
14:23 (10分)	グループ対話①	
14:33 (12分)	テーマ提示②「（ペットについて）困ったこと、知りたいこと」 ・ペットのことで困ったことはありますか （自分が飼っている（飼っていた）ペットのこと、他の人が飼っているペットのことで悩まされていることなど） →困ったことが無ければ、知りたいことを出してもらう	
14:45 (10分)	グループ対話②	
14:55 (10分)	共有 ・テーマ①②について発表 ・困ったことや疑問点、知っておいた方がいいマナーについては講師からアドバイスをもらう。	
15:05 (25分)	ペットを飼う時に考えてほしいこと（講師のお話） ・ペットを飼う時に必要になる手続き ・ペットの幸せや安全のためにすべきこと ・災害の時にはどうしたらいい？ ・ライフプランとペットの寿命…など	

15:30	質疑応答	
15:35	ペア対話 3分×2回 学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:43	お知らせ	
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例



活動の様子



37 荷物を送る

荷物の送り方を人に説明できる
国際郵便の送り方を調べることができる

標準的カリキュラム案で
取り上げる生活上の行為の事例
21(45) 郵便・宅配便を利用する

つながる相手

★ 協力者：郵便局



活動進行表（例）

準備するもの	個人ファイル、名札ケース、学習確認シート、学習記録、プロッキー、ホワイトボード（小）、ホワイトボードマーカー、マグネット、活動進行表、提示用キーワード、提示用イラスト、世界地図	
時間配分	内 容	備考（注意事項、担当等）
14:05	あいさつ、自己紹介（名前、国、趣味）	資料配布
14:15	ゲーム「リーダー探し」	
14:25	「学習確認シート(前半)」記入	
14:30 (5分)	テーマ提示「荷物を送る」 ・荷物を送った経験（日本からブラジル、ブラジルから日本、国内） 何を、どこから、どうやって、どうなった？ ※郵便局、宅配便 ※EMS,国際小包 ※航空便、SAL 便、船便	
14:35 (20分)	グループ対話 ・荷物を送った経験を話す	
14:55 (10分)	共有 ・グループを変え、荷物を送った経験について一人2分以内で話す。	
15:05 (5分)	テーマ提示②「荷物のやりとりの仕方でわからないこと」 ・荷物を送ったり、受け取ったり、したいけれどやり方がわからないことはありますか。困ったことはありますか。 ・郵便局ポルトガル語サイトの紹介	

15:10 (15分)	グループ対話 ・困った経験や知りたいことを出し合い、できれば解決 ・郵便局のサイトを見してみる	
15:25 (5分)	共有 ・グループでどんな話がでたか、代表者が発表	
15:30	ペア対話 3分×2回	
15:38	学習確認シート(後半)、学習記録記入	
15:50	お知らせ	
15:55	全体会	
16:00	終了	

教材例



磐田地域日本語教室対話活動のための教材
にほんごでおしゃべりしよう！Part3

行動体験の活動のための教材
街に出よう！人と出会おう！
— 活動例集 —

平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
2019年3月作成

教材編集メンバー 中尾和可奈
 川添 裕子
 鈴木 ゆみ（責任者）

2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
2020年3月改訂

教材編集メンバー 川添 裕子
 鈴木 ゆみ（責任者）

令和2年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
2021年3月改訂

教材編集メンバー 氏原 初美
 立花 チアゴ ミツオ
 田中 琢間
 川添 裕子（責任者）

一般社団法人磐田国際交流協会
〒438-0086 静岡県磐田市見付2989番地3
TEL / FAX 0538-37-4988
E-mail : ice@iwataice.jp
<http://www.iwataice.jp/>